が総質は若曜するや元マ「難く振りだネー』と問題して次きの如き上配職で記稿融の流値ない質問に答った、時局没書的暗記であつた

シックリ合つた脊髄素の總質は毛極

て弱速は俸給も高いので一元化とはさらかと背くだらら、知らない人用はしないだらら、知らない人 だらうが適理の判つた人なら信こゝにゐる諸君は書いてゐない

中樞院改革問題

建管でも設けて具態深を練つた 上のことであるが、これに開婚 して東市の問題もある場で、現 折を最初申立したのは能勢を現 たのであるが、原事も薄別もで たのであるが、原事も薄別も大 立して登聴とう日との開始は大 かであるが、原事も薄別も大 かであるが、原事も薄別も大 としては同等者へてゐない。

総裁の手で研究してある

歴楽を起すにしてもまづその調用き近く程度であったが、 京林に委員の意見をであったが、 京藤間を近く程度であったが、 京藤田を設めていたが、 京藤田を開いたので見を

鮮流鐵道の一元

開發問題

松岡總裁との會

社會教育施設の擴充も緊急

一特別の記録人、目が増収、労通成一帯々五、六岐圏を承認する結束と

陸海軍の新娘要求に對し

なり、標準度がを加算したる幽跡。なれば確衡単共八級側(本年度よ

見られ、結局國際数の増選不可能

放動を下すに至る外はないものと

| 郵配要求領十五版を超ゆる陸復址 | 増額する外に途はなく、この意に

関手度無が決定の鍵が形されてあ

たくとし、この形態がに振り向けるの外と健康専用開に政が転換的なくとし、この関に立つて関田資利が最後的なくとし、この関に立つて関田資利が最後で

来山生徒が九州七の他内地で入せらにはゆかね、鮮内で就學出

ゐる者が多

二宮憲兵隊司令官の

ないと存じます。延命院標に何事

用量

··一回 0·年·0·麦

したら、それこそ大変でござい もしも圧那様のお耳に泣入り

用法

安全間易

を仰しやつ

時間

一回二分

間

「たしかにあのお法は、唯事では

公債増發の外途な

政治的折衝後盲相裁斷

水總額は十五億圓

五相論議は十七日

野獣医院革の第二次五科野選は十二人東京東西・地方行政制度能に認

獨逸の技術者數名を

任海軍造船中將(香港)

阻離する方針である、確極軍以外 廿日若しくは世四日の翻離に之を 統人像がの最終見倒を決定したト 機械後身に親領十四郎に達する新田程度に喰止めるには十八郎団の 規要求を十個国程度に承継するこ |結局関係問題前後に於て馬鹿駿和 | るものと見られてゐる 過ぎないので、歳田퉶御を甘入図| 世紀第十二、三岐圓を以てしては に備する東三四港資金成職は十三の心臓療管出職、前回に引(東京市語・横断の日蘇連業保約)相、島田農和、大田法職商 樞府審査委員會で 校長協議會の中心議題

た、光州及び本主開設された金州・宇朗士時五十分景城都歴山に同つ 富永學務局長語る

る語のた 今度の中等校長協議関に

中等 學校の入得試驗問題中、特別のでうに「歴史」だけには大阪のやうに「歴史」だけには対ので、出て情報を伴ふこととなるので、出て特別を伴ふこととなるので、出て、特別のではからに、「歴史」となる。 れでいゝといふことになる、全學校で真面目にやつてゐればそ

日蘇漁業條約案可決

- シコ粉重、彼はモロツコ出村、後 殴いのがブルコスの英間歌の宜季をする革命軍首都ララ 端壁のカバネラス勝軍、中央の コールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの革命・ ロールコスの英語・ ロールコスの大田歌 カナリー群点總督となったまだ四 寫眞説明 去る十月一日ブ

日子後一時半より機能維務房に貼一段の内容に職し家舗を進めたる後に、中省衛長常井委武長以下各委「成殺を可決取る十八日の本際領に成、村上武司鎮武、戦闘調将旧外一上続することになつた

の他胸眼自出題、前回に引動き様

げてゐる領服がフランコ将軍、 十五歳の石き新道である(字を駅 中央符の

郡守異動 經濟原之日

郡守の一部典動を十二 日子的子時

明を受け、その歸りに逢つたのの後の情勢や敗遣率に就いて説の後の情勢や敗遣率に就いて説問題で相當に心配してゐるので、そ

任海軍主計中將 佐《本惠編

人も言明出來す

宇垣大将は夫 人の四十九日

で保在ガタが 局も遅んだの

る前の大なる繁善。さるにして 器松公野金城、火器を面に入

類もある。というでは、脚下と吸のはの民衆對手では、脚下と吸の

はい

然角度を變へて今一度が八重し

再建一日も早かれ

で融武、散步、原想の日を送つ

海用

る市民)であると言はれる、他に
主、自動信技施等(何れも善良な 政府は反國家行動の職でドイツ れと相則後して極撃されたと院へシア人類教授師、法律顧問等はそ モスコーに征留する唯一の官額被られる、右牧師は背信地動の牙城 ロシア人政名、ロシア人適節、ロ **区國家行動**の 健康を害し

節であるだけ、モスコー在軍大公 ふことが出来す困難してゐる出で

使解説は日曜日で

藤輝を執り行

が、ビッとこつちを見配めてゐた。 にはまつたく思ひも掛けない条行

いつ近着いたのであららっそこ

ころ様は、昨夜も副設には姿が見

新發賣

急性・慢性・鰆人用

普及藥

九〇

いきせわか。

かなかったと 御金脂のき

の治療力を振り患者の病者を一眠も早く解消する為者記透療の目的は企業より一層耐急医療に本態機管

めですから未電観者は即刻御使用下さい。

誇るべき治療の特長

突然おころは背後の際に繋いて

所に、立つておるでなさいますと 「さア、あたくしには見富が付き

こざいませる。今時分このやうな

だされたので

完

作

1337

世繪

平北國境視察談 なくては見られ致有線で、終州なくなどは見かれ致有線で、終州なくなりでは見かれ致有線で、終州不安を除くため重響の協力は元ので、原歴のなが、大め重要の協力は元となり、決している。

りその結果は採用されてみる、な 一宮山台宮は山中次の別く語つ が、態寒の冬 特に健康、尿癌か小配たため角膜を関行して家庭金部の組み重要を同行して家庭金部の組織を指している者があいば何とも集の消じ年、如のは何とも集の消じ年、人の協議の売買こと急者である。

任海軍々醫少將 (平地)

坂本行太郎

石農場門

吉原病院<u>長</u> 前東京吉原遊廊

佐藤荣先生

海軍之際大佐 器(年近年)

雷雷

7

魏消厥統縮收飲力と戦時職所な発行性超敏力とを、整きを翻明するもので、その上短目時で治るのは、戦

言心研究の顕悟方法で遊話した本語はにして始めて

見る効果で、殺菌力だ

治滅の根本たる病院を破壊し駅院を除くがが眠る強 强く、ごれ至歴界の歌めて止ま由飛行伝機能力能も 本種の出力表プラオン戯は、されを慢性証に使用す 存配の超く思れた特長にて湘病を短氏時に治療する

れば一時的に記述に戻し治療を容易にする程度膨力

は精進的施展を遂げついあり、 助成によって朝鮮の諸鑑業 摩雅掛を前す 鑛山労働者に福音 扶助規則明年實施

軍法船少等

雷

する方針のもとに、立案中であつ野役状動規則を耐令を以つて公布 襲命されるが主たるもの左の如 月一日鴨州と共 任海軍造兵少將(各連)四 男解 同山 均

住山德太郎 作廣 二郎 のため十三日午後三壁卓城縣・〇丹下本府保安課長・南州城職等 長)御支視班甲十二日のかり◆坂田政少將(参謀水郎第二郎)

後三時十分入城の害金爛丸就航快後のため十六日午金爛丸就航快後のため十六日午 その有効手段が何であるかは何一 天地支黃 對支援節数極的な有効手段が 「途中で見つてはなられぞ。」

の供をして、駆水寺まで行く窓にろは、そのまゝ何んとしても発行 『野那様。恐れ入りますが、この が、おのれの服器を購みたおこ。すまい。お歌の歌なのはおころ標

おころ概なんだは、必

をは、そこにも見えないではごろ せらとも、却つて御本意だららと 解りなさるかも明れさせれた しもお気の様なことはこざいませ あしかてると、途中で獨りでは ……するで曹សのおころ標の艶」はせっあの僧れた歩きや ばしてふらし 光事になりま

> ラ ン ¥ > オ 7 3898

「でも、それに間違ひはこざいま

發明劇製

松から治療が出來ます 朝に配佐用髪優性共に 連して、路邊線彫製が 最少の際偕で最大効果 後期の病言なき造に抵 炭幣の危險を安全に歴 (辞人、強維) と至く相 総関副作用なく明

般不快爆雑な局所要 で充分効果ある場、一 識される様少量の使用 然であります。然も軽 近比較にならぬのは驚 けの健康の治験とは野

世紀的に質問された程

関力皆無の内服薬や間

無期に効果的中する治 本際の如き最少類似で 栗に送る被密染動者は 見込みかたの優性患者 長らく使用して全部の 形脈人密康や注人康を

登録の歴失は限かです。概念の選びなく異なな **帯薬を使用せわば一生**

注題 先づ急性機体共に長初は一望から治療を始め鏡は下の関係があります。結入用には三望から能します。 され太常が短期治療の長れ来ら担本で感頭の体調が必要の必要の所であります。 結入用には三望を使用す。 代用薬ナシ 日東製薬含名令社製品ブラオンギンケンゴールと特に倒指定下るい

災所。来有い高重が行つた。

部に印ていた

八〇萬人(約至日量)十一円五〇萬人(約至日量)七一円五〇萬人(約至日量)七一円 東京市芝區通新町十三番地 教代理書 给给河原商店 電話三世(一六八九番

文献進呈 日東製藥合名會社製品

たらねそえご

75

始めた。 間を到んで、題

全國類店にて販賣す品切の節は直接館代理店へ

一月

E

一齊に

四和五年以來全國府縣を取プロッ

警保局からの慫憊により

警務局から全道にお命令

獨逸の全貌を發く

苦心蒐集の印畵

時能兵城本町三越で湯上りタオル 有様で、せめて赤ん切のためにとの罪の犯した女――十二日子後三 なくほどを養してその日にも倒る

た、それでもなほ同女は夫に担い 即記の品を英引したこと訳で記つ

てする

本語品! 本語品! 本語品!

赤ちゃんへ

M

曲詩

興

音

丸

FELOS

可愛

松い

平間 衛號 二九〇八〇

機場にて販賣

晃

要のつばさ

・ド番頭 二九〇九二

酒を飲まさらと同日平田首氏市は

供したが、係以は同情して適當に一合人日本額を英引したこともは

内部しさ、歪んだ母称変からある

| 假名しとて蛇蝎九ヶ月、夫は脳

敗故に生れ出づる子の初衣も買へ | 城河観町二三村柴の実金以(で)

可愛相な女罪を犯す

アチス獨逸寫眞展

十四日から十八日迄丁子屋四階キー

般に開放するが、既示品木工、会教に開放するが、既示品木工、会社十四日午後一時から招待日、上は十四日午後一時から招待日、上は十四日午後四時まで

學藝品展示會

京城高小校の

点等小型

クに分けて「防火デー」をは強し

することになった、この態情によ

原因まだ不明

は全國一典に來る十

の制制とタイアップして、十二月 りわが関卵總督所でもこの内務省 月一日を開して防火デーを問刷

日を関して共に全部一角に防火

記録域立方を各道に通知した、こ

り意外に草く手にあまつた末申街 についても取調べ中であるとは低強不明、甲代語かに避めたが火の麺 (光新聞語を無除した四年生全部とは低強不明、甲代語かに避べ、ほタバコの呪なか、子供等の火のまでは低強不明、甲代語かに避べ、ほタバコの呪なか、子供等の火のまでは低強不明、甲代語かに避べ、ほダバコの呪なか、子供等の火のまでは低強ない。

京城驛を出店に

け跡、校邸には十三月朝、全生他一瞬にて灰燼に歸した都松校の焼

は見る人をして限をそゝらした 原州等を望んだが、その可能な変

八冊は話(品) 岩目地変え

いてみた いてみた いてみた

金化北乃芝西

桃屋があらき、つ

国産化北の発売

晴 晴 晴

用躑

某村家並ニ

舊藏品

書骨董及刀劍賣立

會

會場

京

城日報社

來

靑

閣

30

十一月十四日

(土曜日)

兩日共 午後ョリ競賣

平和の夏後には聖

于

一般の確認として展開してゐる外

忠商北(の風)

全般天氣豫報

版は道づれ、

連れ(惡よひもごし)

r-p

里遊發賣完 株式會社, 日本監督藝期會

御試職下さいノ

寄聞怪殿に乱立せる晩秋の府景を

られた他の學校へ施け残りの机、 がを贈き、

生徒選は

各自に

側當て 方針について野中校長から誤の訓 が帰しさらな姿で出まり、

可憐な學童 校長が淚の訓示

/組のお天氣師

南山の犯行から捕る

防火壁を設けよ

理科室は別棟にするやうに

初等校の改造問題

語語特局長はこれが は同じた を質問することになり、十三

生主伝が可法を収録・微野艦・川鶴き艦鞍護を召喚、爬鼓響勇とった光観成について頭路響では北側が ためが観察としたので、同窓ではった とのが観察としたので、同窓ではった はにせよといを確か呼ばれるに至

鍾路署徹霄して取調

解院記念記書館を発行した。門、同院に行将、便最におは、皇后陛下の行塔を仰ぎ。 て午前九時三十分官城部出

女子教育に深く 御心を 注 いて路松号記 殿下を始め各 御能野、略式自動作画等に を進へさせられ作品を慰丧 を進へさせられ作品を慰丧 れるのに一人開始にい師は

期一年生の茶宮緑が何要安は翌一の投票を御野遊ばられ、前の投票を御野遊ばられ、前の投票を御野遊ばられ、前の投票を御野遊ばられ、前の投票を御野遊ばられ、前の投票を御野遊ばられ、前の投票を加速がに入らせ と個一終に明軟を歌はせら 経際生徒、楽しなど一同起 **断官,※官兩內親王採各始** 最に御出ましになり、中期 徒の製器を御覧の後、祖園

より消化、生育その他子養配、御窓鐵ののも午後一時間をはじめ配作所割を飼っている。 時常的の技事所引 御部、御声取削滅はしく宮淵野、午後二時三十分同説

子で称一時間に配つて発生

州から黄彦北部へ――更に背景

◆ 城建三度 (二度高) ◆ 元山 (三分◆中江観客下二度八分 (三三分◆中江観客下二度五分二度高)

正度一分(二度低)◆江陵五度 一分(二度低)◆太邱七度一分 (四度高)◆釜山九度八分(二 度高)

徳壽丸に

諾威船が接觸

風・高血壓・神經痛は

並木町の喧嘩騒ぎ

郭に走り可成り顕著な不理財

御在製中の、

化粧下にペルメルサラッタ製は左駆を撤倒したが

サラツタ製は左舷を縦切したが低端)が急端に押し流されて接続

原因を確成的に研究した結果を見し、心部の歌、歌門の響楽博士と共にこの病気の一級物はルモントの観が特で有名な今津に博士は一不治でない事を能が

「循環を良くすれば る

が原因

小なで潜不

生れ出づる吾見と

貧ゆゑの盗み

続サンベトロより時間、千五百回

を強威、門司に入心して派た時代

分下調整流島に停泊中の顔差に奏工・

初冬の冷雨去った十三月朝 観測所聞野技師は天気過を

京阪は支那内壁に高く、日本海 中部に関い低気吹がある。雨が 連貫線の跡を関ふ角気能が大陸 連貫線の跡を関ふ角気能が大陸 へ活動して水均賃で、十四日扇 内壁はちよつと待えるが、全部 時頃起しい個か随つた。別の最化粧物に京城は午後八、九 王郎一僧に選みきつた年 所に用を除らし中に版、維には 的に今のところ寒くなる材料が内壁はちょつと冷えるが、全節 温度は左の通り(括風内は平一十三日午前六時現在鮮内各 明名に発売四週間を要する傷を駆 定、株友福(**・及び金七星(**)の の好人野日光雄("町)と共に、十二上衛中の大工大野島夫("む)は同宿定城熊木町一四六下宿屋山日館に 山の着は兩人を参叩きにした、兩かり、それがもとで附近にゐた澤 るので大野は出及厄丁を取り出し 更にこの兩人を觸次馬が迫つて来 名は辛ふじて下宿に辿り着いたが 日十後十時頃臨木町四三松月食堂 へた、本町客では大野を取調べ中 前を歩いてゐると、 通行人にぶつ て強火馬連の中へ躍り込へ住所不

前八匹九分(一匹倍)◆済州十二午前十一時京城於南米倉町京城組(女を本町岩泉が前へて調べた、京◆金清省五座六分(二匹高)◆木 特別傳道大陸津 十五日(日) 脱脂綱、ベビュ服などを真引した◆京城二医四分◆七川三医六分

が同夜年島をサッと横切り江陵、 无山、城畔、仁川、 京城、 平國、 新

松枝の旗先事党から供送顧館書| 入ると同時に党政会は一権が一総| 超、十二日千巻五陸城京城院へ編| に京城院を出战として五牧・岐11| けて京城本町五丁自御沙文方で飲一谷女の旗先事党から供送職を書した れた、こやつ前科三和の強か活場句が無一文で本町署に突き出さ んだり喰つたり十一四五十銭銀り 全鮮中等校の 英語雄辯大會

大きな風歌は、同様に結び書の説。少数で、「「吹きさく」、こともとより、ことを削いませますた、中歌により「は歌語コンクリート数はあるがは、よき観じざんなれとはかり専山会教授が歌らにして残酷に踊りた」は歌語コンクリート数はあるがは、よき観じざんなれとはかり専山会教を含の歌語問題が思った。この世界と考して、「この世界と考して、「この世界と考して、「この世界と考して、「この世界と考して、「一次」となり、「この世界と考して、「一次」となり、「この世界と考して、「一次」となり、「この世界と考して、「一次」

とじめ酸者の間には全命的に初磨」と化して防火の手の強しやうがな」を吸つてゐるところへ現れた平北 | 百回のお天津部水を願いてゐたと

かつた、現在全解初等環校の校舎生れ科僧所さん("*)の山出し妻に自供

関めなかつた路める原程と氏が、に是非防火度影響と理料能等は脳一三十能圏を推上げた、事態により、これはまた心臓の強い男――

阿波文で無錠飲食

特急、釜山

豪華車全部で九輛を揃へて

各驛ぶつとばして釜山驛着

間になる皆である(葛真は京即间

五年間ピストル鍵帽六種入りとご を腹つて侵入、赤段ケース入り二 町八四価質一氏方へ怪絵が超手窓時から同三時までの間に京城通に

百回の預念通点や記念網金メダル

品が際語は十三日午前九時から三 牛品一万場伯の金剛山百景館に過

| 個を高取進走した、時節的網路 | 日間、翌新本社講堂で盗を開けた

「福進する超特は、弾丸列車) 顧保から七時間廿六分の巡機時

元者の復定であるが、行道の列引 and 五番川麓京城には午後三時四十六

士四日午前八時廿

物質で記棒と物質な拾び物 その一芸子一旦先

後七時半から燃杯高野罷気で脱艦等県校英計雄都大館は、十四日午

牛島一刀調伯の

個人展盛况

延哲型門型技主艦の第五回全部中

塔材の講堂で

と拾ひもの 物騒な泥棒

牙釜線で公試運轉

忠北福州生れ金量(2011年)江原近暦 | 際的配出所成が興機の共同他所的 | 生れ住所不定要小六(**)は十二日 寸位無路の日本刀一振を拾得、西 知事情含へゆく途中、路上で鏡な 内署へ組は出た し器地派模様の軸に入つたこ 我健断さん(是)は十二日午後六時| 野京城和泉町鉄道資金から京畿道

その二
京城道郡部町七七

書では那事隊は緊張犯人刑監中

の一人則重作の옮刀を始め強いがの、鎌倉時代もの多く、刀剣は正宗十倉の、鎌倉時代の所領、奢望、花銭 常代一流の名作品、作道に藤崎も 門である。
「新界の変好家拠」「に絶好の機 下見即致、午後から難到、古師、

改励作道及刀劍至三百五十條版は、新古典和威品及東西家の夏朝品、新古 で原立物を行ふ、兩日共平町中は 十四、五の兩日、本此間上を再開 肝満性重菌集豪、木村氏多年の蒐

來靑閣だより 書畵骨董と刀 十四、五日來青阁

四〇分小明(更) 期明佐和 太夫 (單) 竹本紫女▲八時 ○分辨消佐技報館▲八時義

(明日) 同じ 京城地方 于 调 相 化午午午午 任年 经的 经的 25 25 26 25

部山原 | 銀東の風 | 北成北|| (北乃世東 成南北|| 北乃世東 晴 仁川の潮時 晴

-0 14 -0 14

おみやげ第

時れ(明日)風場く阿一蛯盤所方時れ(明日)風場く阿一蛯盤所方 (十三日) 午前六時一度三) 正年京城温度 (十二日) 最低零度五 (今晩) 晴れ



型型 シが八升の菓子となる の シが八升の菓子となる 五合の米とトウモロコ リード式 膨脹機 市阪大一河西庄本島川淀県 所作製島兒

坂井耳鼻咽喉科醫 井院

●全國駐在● 中心次第文献送》 中五日分、文字:1 神主意 安 中五日分、文字:1 神主意 安 中五日分、文字:1 神主意

にして月牧多大規則響へガキにて申込み場合で権威ある。現代的愉快な作事(事場) 年 採用!! 鈴

香香

個乙カ セ ラ染料育社特約店 作語ローチエ香料育拡代組店 一水原液 液 黑 華洋行

セメント空脈袋

商店 在庫

関東部各一幅計七輪の本物的構成機、二等部三幅、食業品、手前物

機能士二才軍記氏」飛ばした、途中大田・大郎の爾停山「目標に、所知は「阿姓氏」の他を設設する職」急者停心職をノンストップでよっ「即大時間四十五分で心轄の経験の記録

町六時間四十五分で心臓の試験を

調動、参院、公庭など会所の領 メケク振帯で朝鮮神宮をはじめから三時まで原々しい藪で精、

欧帝、公島越野日と、連日いろ 敬老婆苅日、鼓口忍古日、生活出しに郭心魯邦日、麒麟増逝日

海型的工程面景等

職組加盟の六十版曜は午後一時 |◆◆◆作典週間は去る七日を振り

しぐらに難山、永気神、水脈などの

初冬の 大震を聞いてまつ 時十五分登山のゴールに入った

原配山一等政皇山、二等山各一

に確敬して定刻京城野を設い

物の人建の献呼を浴びて、午後一

◆◆◆精神作興園間の最終日

興週間終

終日・報恩感謝の努め

いろな雌しに何れも好成線をあ

民役種の関係にあることをお見 狭心を舐め、國家興隆の本は國 げて緊迫する非常時間に属する

十三日は最風版附日で京城数化

類原設制の一日を送った 指にあたり、汗と異心を掲げて一

年施銀四八シ配」

四時は、十三日午町七時半京城縣 に来る十二月一日から京装間を 八時間争で突つ走る超特急の公武

機ち農事のは、マモックを整備は、選奨たる数に複数を軽い際数や現の形が完全に行く経験患が高、は含も最近の形が完全に行く経験患が高、は含も最近の形ののを思はせ、初級数寸値名が報込み、差目器世事、脱血網水も完結よく、最色の屋地のでは、初のでは、新山地観音器をはじめ、瞬にもダイヤ通り吟鳴四分間の漫画を表している。

男丁 池 | 所時西本領寺に於て相愛み申帳 尾 朥













































一能つて配組したものであり、これ 一味を現してゐるといふことである 火、木、金、土の五行成によるもの の四駅即も四弾は天の四方建象に 版の三種の一子係枚の撮影終了 に担遇した極國であって守護の意 は支那皆代より行ばれてゐる水、 衛、方位、四季などを合物的

れてその領毒く月は果万の特別 月は南方の宗教を通行し関語されてその領毒く日は果万の特別 ときであるため人親の副島でよいとしている時代にして深思の長さら、西國人物を同一順した時もある。ことはれてゐるので選挙に前 ので腐敗を栄必又に失恋と呼べると言はれてゐるので選挙に前 りのとのなると言とれてゐるので選挙に前 カ風と物を同一順した時もある。と言はれてゐるので選挙に前 カリン名に見言されて コート 文武 (北塔)北は多であつ、 甦へる良心

京五城平城、西平城町と地方して一カーを直域、野原田に助時にモータに

クロ報から歌門に関すこと。 なり

日午後二階での第一門のモー

仕業と報明、買受けた人遠は融物で十四種に取りつけたのも聞人の

に柔く吸か味をもつてゐるもので

軽へ品を變へあらゆる方気を調じ

に置いてあつた自然型を荷台に費の他町一六井上西建民方の奴職元

猫婆の大家

るが本年八月廿六日午後二時頃府

てあるが、個内中最も建設の多い

鬼跡があり、そのために郷際治かと石値との交継線には聖角がなく 一千五百年過ぎた今日でも劉難し 一千五百年過ぎた今日でも劉難し

山上げに山川があつて締具が石の

比して粗でありこれがため回の

| 「「「「「「「」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「 前科四犯の窃盗犯 清州署で涙の對面

7.結果、平城、西平域空間には終

問題の統の上、現金にけ扱き取り 4十日白松、山川中市屋で南州 あるが、悪の道から眺せられず法 に向つて 開州面外池里居住、羅案のボケー から四回甘五段入りの既日を 共同征防に投棄せんとする と言ったところ、歴史は頭を振り

この製品をおつと聞いてゐた西部 すいよえ。何時までも従つてゐま

〜 食既は少し外いかも知れないが、|面大鮑諸里弥諸前科一般将光殿 三 も迎びつめられ親族の一衆に す人 | が三葉列通内に開記南版事が入っま使は月を贈つて | 「一般は本地人住宅荒しの大同地通山 | 停心中の気心の下を誇ってゐるう | 費献して前親に高飛びせんとした。 聞ひどいで関を続けたので同女も つた、然しこれがため黄氏は蚊目ひどい嘔吐を置したゝめ未発に終 し興へて殺害をはかつたが変氏が

振落されて 人事不省

草型間の飛星数を所持する駆から

戦して線路のダニを一掲する方針 |平期| 過度大同語に連加された を設地、告題四年に削したが平職 どんだ餘興 降り追跡をしたところ男は構内に 事も問いて疾走中の列車から飛び 脱兎の如く逃走を全てたので南那 三等客に不能の男が折から機関 に来かいつた移動班原田、秋南那 を見て矢壁に列中から飛び降り | 遊所服人事切法(**)といひ十日仁 が定州を翻ぶして間もなく 活劇もできの珍捕物 日朝十時北行「の一級し」と大概を出して民家に飛び一て來るやスッカリ性偏づき身にも 列車から飛降り人殺しと るのを置く響加し、東国ペイみる ひ矢壁に収定を減みたことが戦明とみところきらはず膣れやうとす つ暗さからっこりやばれた」と思 れた現代金九百五十国をそのまし 川府県木町金剛圭氏より水殿郡南 「上面並細で氏に改してくれと記さ とこの男は仁川府松林里が清祖出 **叫びつつ逃げる臆病犯人**

安物買ひの

平壊荒しに

| 金生したがなほぶ。臓不明で大邱 | 十一時年頃所内大橋通一丁目の十

みて列車から振り落されたものら 八一

を際政が継近、勝急手書により称して金山・安延安全日の十二日平町一人が人事不省となって作れてるの けんなって書む

【釜出十一月午後九時年ごろ配

皮肉な事故

高勾麗古墳の壁画

一枚の原色寫眞

城大法文學部の手で撮影

守護の四神畵に物言はす

とうとすや現人は梁に戦情の滅る一堆へ切れず男泣きに泣いた、寒女 - 検革局へ引かれて行つ(番号) との重ねての主任の言葉に個人は

かくら真然な差は再び型へられ、開、旅行の前途も低も大量の保護・監察をしてみるを経しみ大田野政からの真然な差は再び型へられ、開、旅行の前途も低も大量の保護・監察をしてみるを経しみ大田野政院と

【満州」去る二日米部が初自由以

曹行頭 吳 學 根 同

町公配市場の雑代画三般に使入、

して一日四十銭はの賃金を開ひ家 **矜澤から足**

こは雨米同窓で取調べを受けてゐ一始末年を取られるやうでとんだ安 物はひで油をしばられてある 分に過ぎた メリヤス泥

シネマと演劇

線路通行絶滅を期す臨時運行

拍子抜けの意氣込み

建住、平川宮に連加されたメリヤス数十原を開取したことか

を前記非上氏に母子や与大同器に一様穴名か辛もじて共月祭しの生活一が関もなく平原名に連加された

第で頭山方面に向つて進行シーラー人の左手中指に配申し左続を買き路で頭山方面に向つて進行。一ラー人の左手中指に配けては成べれてはあいます。 (本語)で現れては、本事五月で位は前、語りは、の頭丸がほうては 家に飛び込みま 六十餘国を拾得して猫婆をきめこ 《土翁軍を拾録して猫竇をきめこ』生、その節では日下、属相論登中ンクから落下した空布二疋その他。 肱から飛び出したといる 記事が趣 側時前一塵を得てこれもそのま、更に六月に入つて時前所属で

| 「学期 | メリイス記一位 | 一下の | 「大変加加水(中) 小版を辿つて | 一下の | 「大変加加水(中) 小版を辿って | 一下の | 「大変加加水(中) 小版を辿って | 一下の | 「大変加加水(中) 小版を辿って | 「一下の | 一下の | 一下の | 「一下の | 一下の | 一下の | 「一下の | 一下の | 一下の | 一下の | 「一下の | 一下の | 一下の | 一下の | 「一下の | 一下の | 一下の

少年三名と共に府内側町八〇金元 監督、田 ◆──大同称大同正面将巡出的元 人提供杨彩色漫版上

【海州】海州學校組合門議員缺員 より白質観光で選那長佐々木白長 四名の捕鉄巡撃は十二日平町九時 無競争で當選 『青春の海』(音楽映画カリン、 日本版「最後の醍醐慢」(アを影響せしめた問題の大作系

學議補選

路の上動行、選挙人員取六百八十 競技製で左の四氏が関連した 名中三百十五聚莱宁、三百六十九 及び萬代祖助、三上常助、飯村才 ▲一〇七聚古田稔▲八一聚中西 キー『想は雨に濡れて』(間遮っ

黃海道金組

【魏南】 十五日浪

大會に發生

醫學博士 服部光平先生は雑誌「臨床醫學」 誌上にてテモフォーゲン

設せられたり(この文献は最近強行の醫學専門難誌に發表せら

等の臨床實驗の優秀なる成績を北海道醫學大會並に鐵道醫學

橋本久先生は多数の肺結核、肺門結核、共他腎臓結核

て見ると、自覺的症狀が著明に 寛解する、短時日でレントゲン像

カリエス

耐核性疾患を原因的に治癒せしむ。

に注射され結核病髓(細菌の巢窟)に渗透到達して囁く作用し に於て斯會に最も纏馭ある特別購滾として發痰されたり、本劑 本剛の優秀なる治療成績は有馬博士により本年四月開催の日本結核病

2の道内金組理事の大展動は十日 暦金組貨源道支部長兩氏の新任後

海州」他出黄海道理秘部長と須

2角沈阳してゐた空氣を一新せん

反に配んだ下位接全技術所軍事を指表徴込 じめて料料明日の佐 一 発性しては

> 遅延は眼. も硬くた を注射し

に見えて來る云々、と途べて本劑の効果を醠啖せられておる。

「會、小學會、整整等に諸家の治驗報告は續出の狀態であります

つて來る。喀痰中の菌數も、言しく減少する、

赤沈反應の

各類員に競した評です

二人組少年

大邱を荒す

原 の山本養婦部長相手 原 いい流になった。南人・近く全 原 いい流になった。南人・近く全 原 いい流になった。南人・近く全 原 いい流になった。南人・近く全 所 北との流・町球鹿で百げたら相撲 四数精練調の楽のも 切に御使用をお薦め致します。

手販賣元

株式會社爲居東京市日本機區本町三丁昌

震带東京二二六八四番

(武明書一手取変元より無料贈品)

案外なお米の收穫 萬石の増收

前五反でニョニナーのニテ六百 たが水曜十五萬八千百二十一

れたが水稻位付面積二十八萬三千 て随間は作付面型 デニ直三十七

風の域、これを従来の調査方法よ四十七石にして例単に比し三分一 [李堰] 平寛道の米収拠

方町の五千八百四十八石で附至に比方町の五千八百四十八石で附至に比 1五十萬石增 極度悲高は十二日起表さ | 大叫】第二回股北米収

四番は千七百九十二町一反歩で第一段番平均一石三平九升八合となり 九千一百五十六石を増したが節 日により第出すれば近に風水密、一代見であつた、題に従来の開発方 前年の資政に對比し百六十三石 、原相は四分三里強の破收とな際病に果られて水相は七分一里 反常収施復想は七斗七升四合の一 などに果られ二分一回媼の域で 回腹部に出し干七十四石を破 甚しい減收 水陸稻とも

の東絶鷲型は十二日正午 | 閏三分二厘の大破戦を見込まれ、| 劉崩にみれば水龍九十萬六千三百 | 【大田】忠曹の第二回来 | 實牧より一間二分七厘、除暦は七 | 石泥して約二関一分の破であり龍 图三分二厘の大成牧を見込まれ、

の大増收四十九萬石

専制の義妹に

銀正要自民でもは右手利かずかつ一されてゐるのを深く成み去月廿日 【大田】保証部は山面三谷里慶零 | 同居中の夫の弟相知常資氏に一日 劇薬を盛る 家政を奪はれた低能の姉

何から対率の天絃不顧と風水騰3 七十八石、聖僧大英八王百六十九 打職と関わるのである 石、会郎九十七英四王主百四十七 石である |五十一度||干九十八石の頃。配し||七三線部自五十九度||干五百七十一り沙汰されてゐる||五十二度||干九十八石の頃。配し||七三線部自五十九度||平五百七十一り沙汰されてゐる 八百八十五反の二百五十五萬三十一回收極策想高は定州の三十七萬五一りが殿百回宛あるので、これを苦

低能なため家族からも經説され家一年後七時ごろ黄氏が胃病で苦悶中 遂に恐ろしい企み

通り置収をあげ得るかどうか一點 られ来して各型が示した資金取字 間使用による強烈調査の結果と見 せたのは本年度から採用した邱刈 西行の大河牧を見せてゐる、 昨年 より成質不良を仰へられてゐた平 【清桝】カフエー河州智館の女給 石の数字を示し昨年より四十九 女給雲隱れ 殺人未選として取調で中 良時駐在所へ自首、且下大田器で

囲長に辭職を迫る

血事務所移轉の縺れ再燃

第一回よりは二分一厘の減收

曇後睛の第二次豫想發表

浦帰構内に三十五酸前後の朝鮮婦

風水病害で大祟り

てドロンを含め込んだ、原因は不 十日末明、別政にも異所を釈越之 作歌(**!及びヤナギ(**)の南名は

面協議語に指別することとなり去 師すべきとではないと更に同

北 月三十一日現在の水電池一 期であるが明備はなく物品代の借本「紅竜樹」 子北に於ける十一 でよっか明備はなく物品代の借本

数で無事解散はしたもの」内代川自くない事態を流起し、警官の劇に間間軽墜を迫り一時は極めて面 配選に一般が疑点行為をなす一方 今六日各職成第に召集通知的を題 したが内介川側ではこの通知時

同問題は題に理然して解ら悪俗しするなど一時落付くものにみえた せしめなほ内が川に本職を有する。 由は左の通り 遊せしめて英一を野成してゐる状 六日以來就在所では巡日議官を出 同面当記二名までも解釈師を提出

誤解からだ 権面長の談 | 密赤石、野南邢等が七星町を通行 【大四】十一日午後十一時頃大郎

ると七星町四四九李気五(こ)東城

中部動怪しき少年二人組を認めた

製 造

關西特約店 元 大阪

三星藥品株式會和規市南四條四十三丁目 株式會社 田邊五兵衞商店市東區道修町三丁門 証

家庭に田来たり次の方法をあ

湯に豊油を五大麻たらしての 着勢を著る脚に滞き立つた自 な工会長なと言思りの方が

も風邪を貼いたや 手帖 主婦

そのまく題みますと、ちよっち乾いた手切でよく気きとり

下さい、潤いおにつか みますと、奇典に風邪を引き

い、弓をもつた上人が

このわるものだ。 ごう するか、おほへてや

にはに大きなタイコのほつた土人は、や

高いしやぐらに

4、このあいづに、ブラ クの男たちは、そらつ

どばかりにやりを片手

間に医療所をウロウロしてゐたか

識つて奴等が役人の即

衛門と云ふ意味であった。

「オヤ、オヤ清海坊主奴!何時の 道、今一人は北條浪人の和久津左 天下に囲えた意製器の三号渡海人

た。その弟がこれを やられてしまひまし

つてゐる間に、番茶に ませんから、おためし

鹽水を入れてのんでも

がほかほか暖かくなつて来まて力一様すりこみますと、足

子供のない夫

にせよ

背極が葉原、随風が寄れおそ

部線 石本 靜校

大原大臣などいる憎まれ役にはな

部語、類語と写合には、出来

大野大臣の職能でないと思います

いひ城でせ

じに別数を與へて良くマッナ スの少し旅船かあり過ぎる機な感 のです、後い肌形の解する、

えないでせうとはモデ

(上左)五十冊の姿物ドレスには

就をとり立てることばかりか

た處がこの

ートで終取った底は少し銃器なも

りました、金度の都領は大いに領(大臣郡・東登郡・総首郡・デルフ(子に賈美郡を耐人にかけて、とて「千年かゝりの大部軍祭は出來上(以上の支援に弊測派にかけます、)ろしい高宗にし、鵬に深養郎を男

になったと

今の脱紛制度を除正して、國民全

加税する 廣大な庭園に

私が大師大臣になったとした

阿部

菊十

たら

話題題が対議されることでせらが

だ今日では婦人の大臣とい

いところにかければ、南極です、大変するに音々に切しも繰のなについても高彩の緊地感をかけま

話に立てるやうになるやらにしてもやりきれないから他の正楽で生

項配も快くうけ入れられっと思ひ

恩給受領者に

相續稅をもつ

なくて、國民生活同上のためなら に多額の費用がつかはれるのでは 今のでうな幅かりのための正備

のない他の中にしたいと思ひます

なしたいと思ひます、文化の標準

徽副や膝鹿、贤大な態臓などに郷。 一田来るだけ大衆郡を避け、数

らは何もとり立てません、きびしてから、月収三百個以下の家邸か

く取り立てるのは、不奈所得税、

を関むやうな結果をもたらすもの

は増売したくありません、「興内の

三額にします、日本國政として生 脳を射撃とする引金が進化たるもの

批子心中をしたりすること

家院政の慰地から申せばつけたり みたいと思ひます。但しこれは國

ものは出てみません、そこで、

「私が大野大臣になつたとした

派の活品一般に登録を賦行します

遊興稅を高率

改革せよ 恩給制度を大

といる関名の下に女院距論

分を新たにして風々と西常時間の一般、避消税、電話で女中、使用人

原草、酒など○身體に割を及 公童時の台法附股税を先づ助

他の必需度相談が受くなるやうにほす物にもつと高く恥をかけ、其 加度して多重の夫婦を動ける 題を加減する、子供の無い天婦に **薔安稅を實施** と高く財をかけ、其

からかいアッラッな年度での金も もめにもめて居るんだこうです、 た七なので、囲んで家が聞き、大 つま人かその所に最新の家を建て 高質に取り、からぐた上をつめか ソンと課題してでりない。また 、それを関りに出したところ、質 いり、その地内の土をすつかり 雨のために、もともとがらく 能師を調査する脚覇を作り

「新聞祭など、貴上就は百聞以(すから、これを求め、素チナメニを取)相談を(選供が、銀行的、軽減」といかるめら形の総が出来であまます。が強いて出してみれば、財」かるめらを使くには、深くて小 化粧品、住宅壁、旋食配も五十個一上の品物にかけます。毛度、高数 までかけてもそれが下へ下 現在の經濟機器では、どうも 重蒙 神近 一きませなから加減を見ますと 「杯に成一杯字を入れて巻ます、

い関係される傾向があるので路口

重役稅とゴル

火鉢で出來る かるめら糖

> たけの少量の重質を入れ、手早く まつて米を引くやうになりますか

設切は強くまは

たへめ、調から出します

おこのみ焼

いでうに注意して匿をもよつとあっざんだものや既ぶどう、あづきな

即へて賦をつくり、菌にかけたう に孤をしみこませて際した上で焼ったしまん百気に上十分の砂壁で のせて行を切り、フライ解が確した。 うどんめに大れたらずく鳴び上に

ど入れて京ばます

これを大能三様パタを浴かした

メリケン粉大匙三杯に砂糖小匙(プライベンに入れ、ひろげて

|くふくれたらそつと嬢をぬきます||三様と騒と水大進三様即へてどろ。| 砂糖盤などをつけて頂きます

どろに浴ぎ、りんごやパナ・のき

ら、火からおろし、籐の光へつく。すぐに間まりますから、こはさな

供を指しめて居る男にも独全

し、開いないのでその家屋敷に金属に金





りたくありませんが、なりました。
て、圖茂のよき理解を得るでうに「無駄を省ぎ、合理化することにたくない。力をくい。刑害れ後にはなっただけをの理由と便途を明かにし、いかに顕真を求からなか。前政の

アエズ帽子が縄曲の締く くりなつ 仏際資を患へる要素にせらず、

が便洋順な態源を出して階 すが、我國に當てはめると作る

ウ・ピイスの調発機械に高雄し

随参するなら苦して でる。どうじ 大馬鹿者奴ツ! 空返客しろット る。役人に加勢して引っ職へるか んが、技等は高所運行の声でき

を用して、油海入道は、彩を打つ

メスターニー指

粧.

よく致します。いで、自秘の、

乾いた肌に程よい潤いが保たれま

りずむか

村龍取つて、

隣り近所の番は、吃癒して 所に強くようでく、

思ふが、俺の方に少し思認がある。一出したと思ふが、是はどうもで にならい 併し、

と、概つた。

は相見互びで遊してやりたいとも

語のマイコレ、風動語の武士

人の頃を打つたから、 簡の上に載つてみた物

サア、温和しく路要すればよし、

上回ひするに於ては、書き時引張

と、言って、思えず美に飛び

等は何識ならん? とヒョイと見

のと、所は如何に現上版は同じ義

光に立つてゐた任動が、抑も此蚁

人の和久年左面門が の分ならば鎮燃器を召捕れやら 「イヨー、清海入道見事である。

飛ばぬやうに用心しろツー 「ヤア、汝れ奇妙な聲を出す奴 のを幸ひ、一つ語かしてやら と、云つたから、短望な道流

用して見たいと思ふ程ですが、 統上 病院 人並みに

みると、結局大衆の資源にたりさ せら、その他、多領の風給受明者

に跳起します、他のものは考へて

ろへも大いに頭しませら のから私の部けを改んであるとこ

で水力や、當然公有であるべきも 正が必要だと思ひます、地部は相

長でらんと取立てませら、土地

今日の国のやり方に根本的な歌一子部、相談歌は緊張師に高幸の度

を原面にします

地方目行の有罪を破りの程度に於

下は発稅す 月收三百圓以 蘇武と第三腕所解釈の音楽、吹る競励るでせら、馬葛増脱穀中、

程度の財産税資本利子芸、連邦、

等にするでうにとり立てます。でしず、其機能は十分整理し様は以 桃産館、土地均原館です、資本利一あり一度は残るもよからん ら社會の経済状態を出来るだけ平一共紀小心とも密覚観さものにあら 體的第本ルモンの注射有効なる事 て足れりとすべきである、前続法 としては挑跋の良法はないが履下 人並みにする治療法は外にない 潮戸病院長 兵衛と伽音、佐南等の居る方へダ れではと云ふので、此の二人が交 品発行所放棄左衛門の言葉に、そ ・ ら記し人で母補つて頂き庭いと云 と態み出て、

フタヌー ン・アンサン プルでせ ます、モデルはフィルムのケイ・ (下) 仲々スマートな、厳密なア 所にふた下役の名が、 「ヤア 短導者は、何れに居るか…」 が、復方に強いてゐる奴が……] 異り暗でよく納らん

でよろしい! 「左様でこざいます。あの二人が「るからまるれッ」

知らんが、推荐の手にかくつては

| 新語・敦學何れの種人であるか和| 無い人術を目がけて難り込んで行家児を開密である……ヤアヤア 瀬 何しろ、灯火のない貞ツ暗暗 、どれ程の凱黎者が「り被つて、どつとばかり行込んで

盛んにします

純毛牌ランヤ片前型 最上品 七個八郎 展 展 銀 沙オーバー (綾新宅穂裏付)

最上品 七個八十餘

『霜降スコッチオーバー片前型上品六圓八十後

●高 教徒沙オーバー 朝前型八圓二十錢

(接新毛糖裏付)

● 神 高ペロアーオーバ

(詳米子總裏付)

他 片前型 最上品 七圓九十段



●大衆向羅紗オーパ (新毛装裏付)

おうシャ片原型 時間品 十銀票ラシャ片原型 時間

御送付致シマス // 福島蘇夫・バス空夏

等 皮 出

漂白力 ニキビ吹出物の が遅いので有点 治癒に草効あり 菌の侵入を防ぎ

する特徴があり ソバカスに好適 アカの老を物を ますからアブラ 日ヤケ・シュミ 解消して皮膚細 胞で新陳代謝を

●霜降スコッチオーバー (結ゼック集付)

●紳士向導羅妙オーバーミラシャ報ラシャ片前型

(朱子越要付)

多がラ 、方る困 てく アストリン ~ お眠を引きしめ てる化部しモチ・

中年のご婦人がの ゼン

小鼻・口の園 が多く出てすぐ りまじ特別アプラ 皮膚收斂癖が配合 証明れなどするが でありますから

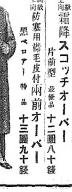


電話元二二九番編巻品10個二一五二十号 日間 居屋 松山合名會社

















して適度の皮脂を分泌しますデタージャンが皮脂腺の作用

適度の皮脂











(洋朱子總裹付)

梅岩流演能會を觀

隅田川

次

制限時間各八時間」

(自) 黒ロ四五に對し D四六の



店

京城府南大門通一丁目十四番地

11月14日=17日=4日間 料金附上地下 30セン均一 商用を具象し人生の流陣を描く 日本か有ずる世界最 大最高の巨福! 中里介山居士著作 日活會赴超大作 ウェスターン 巨作 /大菩薩峠/

原中子 コド - 関コ連行十リナナー 日本 - 1 日本

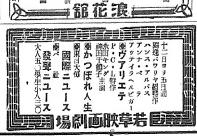


歴史表介とい 金迈効無

資本金参千萬圓 四 第六十四ヶ所並に內 金解谷地に支呂派出 有賀光

マキが重星 (維度社)









承具○御用命は

·電本公云公香 |本家具店<

神經痛 回効散は キキメの強いが評判の

本館 職 來田製廳所

通賦

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

温會

今日は一日が置い ポンヤリする

讀書。裁縫淌

こんな時に

F

EJ L

魯

頭。

十一月十日上り五日間 十一月十日上り五日間 大場科大家居世典均一 が現底までの出田五十部 は長途に配主的 は長途に配主的 は長途に配主的 は大場子大泉名時代 では留子 松平完生的 大場科大泉名時代 では留子 松平完生的 大場科大泉名時代 では留子 松平完生的 大場科大泉名時代 では留子 松平完生的 大場科大泉名時代 では留子 松平完生的 大場名大泉名時代 では留子 松平完生的



符等A 印

🕲 日活日活日活日活日活日活日(🕲

日活日活日 舘 楽 喜 日活日活日

出级所 京城府设金町一丁目一九九 (朝 取 三 阱) 電話技本局(2)1566番 出班所長名(2)2965番

100社成團

國光リ 正味四貫タ入 輸送開始

ツ鳥眞

四圓五十錢(內地宛運賃請掛共) 階寫案內係 合曾

四階ホール

十四日より

は、これが発生では、10年の大学のでは、10年の大学のでは、10年の大学のでは、10年の大学のでは、10年の大学のでは、10年の大学のでは、10年の大学のでは、10年の

新田 金書 日 野年 は北部東京行 25山―関門一幅戸一 北部東京行 25古名―所水―協宮 で 5 J

小を繞る問題

VL 初の共収を開始したが能址の資資 会一次の知し 一二、地 名・マリ 型 地 名 配徴 敷所 日時 公 定職選手里 〇 1100 四日 地 宮 原職 野里 〇 1100 四日 地 同 原 中 八二 1300 九日 〇 日 日 一 同 同 未定 当 30 七日 〇 115年は一厘下庁所外は三連下ぐ 地 な り 115年は一厘下庁所外は三連下ぐ 地 な り 115年は一厘下庁所外は三連下ぐ 地 な 1

本に朝を組少す。個別語に産制さ

一 一 に依ると差引持 に依ると差引持 に依ると差引持

京城綿絲布

各地正米市况

許特麗專

保保 冷温

工事請負

京伊藤保温工場出張厂東伊藤保温工場出張厂

方法是江西出張所不與和於至其格月或拾九日養配 商業登記公生

長谷川

職就手繰り音頭

寛著

州

뒓

次郎

省

頁四十共刊夕朝 ŦIJ 聊月

突如現はる 祭典 見!! 到村胡堂者:

| |快適高化!! | で

一佛大郎者: 過過

百一考萬 科部書巻 事のよの 典大リ参

館書圖庭家の備必家萬

實物全國書店にあり なぜかう康く

十五高 三高 三の 申込 おるか

#あり生命である。要は、いかにして誰にも買へる價と方法を提示するかにある。彼是研究の結果。 遂に此の新裝分册普及版 。の實現となつた。親版大百科に比して別刷圖版は少いが内容質質そのまゝの大百科事典が何人にも容易に手に入る機 上飛躍だ。大方の共鳴御支援を俟つ。 縮州に非ず全五十六州 平凡社モット 『よい本をやすく』の情みなき實踐だ。願ふ所は學問の大衆化だ。國民文化の向 内容に於て世界第一 良書の普及は出版者の

深を立てて二十年、費を費する百年 第の基準成十三百人と九が共軍の勢 解証人員十五萬人。工務延人員卅五 高數千、本文及前側が圖二萬能、場 高數千、本文及前側が圖二萬能、場 規模に於て世界第一

の大なる正。総良敷二とられ。編集

商業登記公告 雙河社(製型,利川與業株支 東京社(製型,利川出張所 東京社)

殖

規造

東京

B

本

次第贈呈本

! 申

藤價に於て世界第一

クハウス一冊卅七圖、ラルツス一冊五著名百科の個―ブリタニカ節一別十五

一類仕銭。 本新炭毒

直務で

高長街は十三月午間三時国取に

わが重要産業は既に銃制の緒に要証言を行つた、即ち

く一大渦在牌開設置に開する里

官民合同大調查會

明年度から七ケ年繼續で完成の豫定

近く新京で覺書調印

ち十一月下旬と見られ、窓際層は※単度より セを用に終 るはずでそのは期は大野政務總監の間に調印が行はれ 曖側と朝鮮側大野政務總監との間に調印が行はれ されることとなってみる、この覺電交換は新京に於て滅洲

宝つた、新潟定暦において併、 北を経過する合衆神を確立する **匈三國代表は故ドルフス、**ゲ

を締結、茲にヨーロッパの

た結果新ウイン

リー外相カンヤ ア首相シュシ

楚山、茂山、會寧、慶興の九大橋で贈覧は飛門に開定される國際衛は清城鎮、慈城、厚昌、慶願、碧道される國際衛は清城鎮、慈城、厚昌、慶願、碧道のたが長崎に支端を乗したので駐職領の形式をあることになった架設駅をたしは観察の作題を含まってに認識を形で正裁層との歌いないでは本種と顕微層と表異く関係権の対応によっては本種と顕微層と表異く関係権の対応によっては本種と顕微層と表異く関係権の対応によっては本種と顕微層と表異く関係権の対応によっては本種と顕微層と表異く関係権の対応によっては本種と顕微層と表現されて

するものである

粧雨一如の達成、匠養園的の全行、延いては地方電票開硬上国票視される**初**

を訪問重要申出を行ふはずである にフニッセンデン市参事動副領長度工部局ブーノルド市参事動副領長

制服の婦人義勇兵の死體二十

横

外租チアノ伯は

見ぬほどの好况が米國財界に現たりと言唱したがこのテーマ・ソングが再選確定の今日愈よ實現とは言語はしたがこのテーマ・ソニューギッとして「幸福な日は再び來スローズツェルト大総離ら四の意理腹に當つて

早くもルーズヴェルト景気を鎌程旺盛な景気が出るであらうと 書気関の超セティンの通信技能の如きは、 主教関の超セティンの通信技能の如きは、 主教関ののない

既してゐる、野窓の近づくにつれ諸台 社社大計るであらうとの原則から株式市場も強制を特計

取出して駅電雨の中に注ぎ入れ よ、右駅弾を駅映すれば、野車 は要異をかいで深ら入事不省に は要異をかいで深ら入事不省に 路らん」と云・宮屋のアラタカ

んとすれば、花香のにほひをか へて「この様ガスの実限を発れ 一ルト大統領が単昇の均衡化、総動の平常化を

總領る本年は七十五

、似立手展帯と公式に撤算せ

て調整、自動車、奥紙、電流などの各種工業は

言謳歌してゐる、失業者總數も

~~~~~好况來!に合衆國口沸立

百萬の増加を示してゐる 太利の黒シャラ殿等の准英

飛過を二十月期くことは動図取職事が陥渇額の活過より見るに限算 背脳部と考究を進めてゐるが且下 長力はドイツの突厥隊、伊たが、これによれば世界認 界列國の兵力現態を翻れし際職盟事務局では十二日世

【ゼネヴア十二日同出】図

八百二十萬 世界の兵力

しめ大陸資源の開設国

日下各機関に厳選し不機関性の日下各機関に成選し不機関性のとめてあるが事情が複単なたのまだ目的を選せて再びな手事が変更ない。

手間とる形然にたち至ったので馬 温暖相は今後の方戦について省内

における別人紡織船業は各下国の【上神士三月間盟】上海東部高端

か出三月までに終らの場合は更に、結果大門省摩が要求中大原水源に一、独落機関顕元に関する経費(現若要求に決したるまなる費目)費・再発展ですることになったが事物的折衝・比別の変定を中心に協議を重ねた。十七萬四) (第一大変定漢語動七首萬回) 二、棉花羊毛資源開設に関する歴史の出土の出土の出土の出土の主義を表現して主義国の主義の関係を表現して、一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、「一つのようなのでは、」」

で開催。左の如く決定、針数整理。 議は十三月子後二時から相相宮城 議は十三月子後二時から相相宮城 の上大部省に送附するとになった

は域策項目と決定された強別移動の民総盟を中心として海外資源の民総盟を中心として海外資源の大きのである。土田のである土田のである土田のである土田のである土田のである。

然補助その他各種目に亘り二百五

一、前別移民に闘する問数

ることになつた

百萬人より九百萬人以下に滅少最高記錄たる一九三三年の千五

した、ニューヨーク全州諸一場の質録支機器 簡は一九三〇年來の最高に達し全國概念の收入 られ、近米の最高記録といはれる、一方パーズヴ

製造の鬼方を売したもので光づ 日く「或る棚の端子、草、草椒 を指き、その砂状をモルタルに 整解し釜に入れて、製御料・の 中に卵戯すべし、釜からウチ虫 が誇き出したれば、同誠合物を がある。

計威勢理の上大い省省局に提出す 十萬回乃至三百萬四尾度の復活要 駐支大使節建設、在外居司民教育 町十時にり降が省級を開ご鹿ぶの

パナマ運河によつて関防線を駆

のエクセンで「産業時間から お草に 保っ「度ガス 製造者の テキストブック」と云よ弦配が テキストブック」と云よ弦配が かったのではなる。 かったのでは、 のこのと云いないがった。 のこのと云いないがった。 のこのと云いないがった。 のこのとのでした。 のではない。 のではない。 のではない。 のこれに従がえる。 のこれに従がえる。

パトラー少粉は既にパナマ巡河の

Emanantes のは大僧扱ひ、 その工夫は既に三百甲即に遡つ その工夫は既に三百甲即に遡つ

戦の時初めて観

見されたと思っ

船出帆

計局の査定を中心に協議を重ねた

米國の新主題歌

は再び

廿日豫算閣議開催は困

| 「東京集話|| 大統領では明年度各 十四日が開催を取るため。| 大統領を取る説は長い歌に名献を取るのは左の知くであるには「東京集話|| 大統領では「東京集話 | 大統領では「三日中 | 1、○○○(英国) | 1、○○ (英国) | 1、○○

無疑った職工を聞名せしめて停業 を機能するに至つたものである 定石を破り 交回首を具確化し當然トリヤノン 進する背公称してゐるが即にミラ ☆賦済を具配化し営器トリヤノン なほハブスブルケ王家の復居につくに於けるムツソリーニ資相の外 「工作に乗り出するのと貼られる、」

- プ部湾プロワクの境光弾化に函 ユーブ確定後職充量化能にメニュンベルス兩首相の選派に基まダニ

【上版十三日同盟】 上派楊福華命 **中和傾向の軍事傾項膨寒を覚言し** るから 恐らくハンガリー政府は 水水水に

潜行する

· 雷·使

際額成所に理解を加へざる限り事るテロ東断の背後組織に對しこの **キ化しつくある折縁間繁華最近全年抗日テロの風潮、熊日ストライ** 態は脈大胆化して容易ならざる結

那以二凡を自三十名が機械を停止 つてゐた不能分子が策励して製的 **(東京電話)朝鮮産業部階別登録|密藤端上初め資産地を各地におい の第一歩として過度後期をに首相|支班へ女子が日本人の女工 監督|レて十三日初贈菜した経井の駅は「政の管局を様たのでいよく」、こ である** 

松井資源局長官設置を要望

れが異様に飛出すこととなり、そしである数の問題を提たのでいよく、こしである

したフェリドマン氏は今回巨流の運動資金を かつて高速感情歴代ポアージンのもとで絶難 が関係を関する。 たづさえて南京に潜入日下盛んに暗躍中と確 上海十三日赤星特派員發

中國共産黨の手を介して (民戦線を動 加

して且支を残い無關を取してある、既に間氏及び人民難解派に渡りなつけ、現中等を操建ととは、中国共産当な化して起発派と、としている。 はボゴモロッ大使の態度は微視心として飛椒 の極東上作を弱化せんとする使能を育すると

間の根絶を崩するには司法ファク 問題として蒸し返すものと見られ のが、法門界一般に於ては人能は

取行制度の映画に基くもの少くな 要あることは勿識であるが、一方 に親する經費と十九回に、南米杉正及近種事業指導援助 一 仮して左 ) 如く述べた 「ハワイ能品に使き電面に出来て のるの関が、アメリカ阿民はハ ワイの聴言が思らないのに無は、 で本国に輸入され本層の砂理業で本国に輸入され本層の砂理が メリカ陸軍の元言町上院議員ベト 【カンサスシチー十二月同盟】ア

が東京地方に段務署を増設しに大変智能各当量支援時都に配け、い東京地方に段務署を増設し、等であつて、情報を良額の定数能、問い申大(税務監督の定数能の定数能)問い

された

【冥景監轄】外務省では十三日午

る経費は決定を見るに至しず留保

バ少將主張

和 組団漕部

部版を着けた婦人三十名か提願説 で利用されてみる有様である 数はり一級の如きは英色の遊覧館 れ起所かないので領所や決議・星宝 るに政府単は無採中に未だ死職が一軍の過渡せる死国三百が投げ込ま 西南部の要地カラバンチエル・バーまでの餘暖を過した疑が思ばれる 配】革命単は減量の後マドリフド | に鐘琴が取りはつて革命軍の来襲| 【カラバンチニル・パホ十二日同 | で蜂の薬の縁に引張かれてをり歯| ボを占領したが無線一帯を観察す カラバ レチエルの 病院には既府 あるが、取代のス したものはないで この革命報では 国を受すればこ スペインの子は悲し

キーも逮捕され、ソッネフスキー たもので逮捕の理由はリトダイノ

配別に限切された 「別食は革命戦の程みでせら

四外物省に開南全部一段次の不十四外物省に開南全部一日平後四時英不十世 雲原館は十二日平後四時英

視案

命までも確はれた市田、既にその生

迤 ドリッドの子供 位置な際に同じ物

になって君談多遊院野を受けて展劇

総府の支持の下に大規修だ保護師 「ワルソー十二日間盟」セスコー「ですべつかの」観だるソクネフス総計の関係に於て世、質、県主領 一十一名の外人選 打 | するなどのよう。 た、即もドイツ人五名、オースト との報道は常地に於ても確認され リア人二名、スエーデン人三名の る、後等一様は十月七日革命記念のみは既に虚視せられたと言はれ

マー味の遺跡により杜紀してあた

部百萬ボンドの支出方法について

本社見四 遊戲節東公立

子である

革命記念日を加し一臂に動揺され 日慶祝のためモスコーに赴いた戯 話を企圖した鳥めと賞はれる

蹂躙は今春の議師に於ても戦兢別。を重要項目として政上でべしとの の後被告に封する智温の態度につ一の議就として最後せんとしてもらその後が人事地へ戦の結構能にそ一部に於て司法制度開新を四相傳統 開院に於いて諭職せられ、殊に帝 金融問題はは近年度ある低に観察 | 臨用は、臨涼、世族な前に、法理界は「古真造画」引法規密書語の人様と、東する意可が後めて帰いので動田(する意可が後めて帰いので動田) A事情報に勝正選挙に発する人権<br />
行成政策によって司法制度の副新 り猛烈な攻撃の耐酷となったが一気川を攫いて心るが近く適酷な ても実施的に於てまたく。政治 模様でその概行は計算されてあるの議場として提続せんとしてある 方面に於けるこれ等のなっているに置み、臨門は既然、世界が前に法世界

抛棄さよ ワイを 夕刊後の

市况

C, 

疲勞恢復。

置する は環境にスペイン、ボ

と協力して監視と政府、他方は政をもつて組織

疲労恢復・强心・强壯劑 食癌を増進し、栄養を補給し、疲勞 物質を除去して氣力を恢復しますの で常に氣分を爽快ならしめます。

各地類店にて随曹す

開墾するまで三ヶ月を必要とするまでスティ取団を削き着す社のダイナマイトを選ぶことはたた一人で面保田米のバテマ週刊を開発性を提動させようといる作職は一位選手裏である。アメリカ政路は開催を指摘するに十分な護縁を影響せればならぬ

・ 市にポルタス(人の じゅう) ・ 対性スポーツの疲劳、病後、直接の禁煙 並回復、 効學、執着時の疲劳、 慢性心臓 消、 痴平像、 神経衰弱等に着効あり。 30競入 .50 50錠入 .75 100錠入 1.30 500錠入 5.00 本社 ネネ AM ラヂウム製薬株式會社 出資所 xm-MB-SB られの結婚といる歌は同一であつ

十四日より五日間南大門遅り丁子屋四階ホ ールで開かれる本社主催のナチス獨逸寫眞

展覽會には約五百點の寫眞が陳列されます

例神の蔵器に使つ態民の月観光統 ても、日道國家の要求する絵間 神を超掛したる際国が、有常 陸一ことであり、そのためには皇道僧の護を 人類世界の 上に 薩城する

概力主命で絶對攻撃王帝に依する

ものではなく、君民一個門は間般 道國家の大服目は決して斯の如き

ルグのナチス策大 會階日の大分列式 【中】ブランデン

日本もまた色形上この影響を受け

新かる動詞と波動の中にありて

しむるがに見えるのであるが、島

置となるの機構完成に精趣するこ

とが富寅第一の努力であらればな

歴主等や政論主会の異な形式に位置するの。思ちば米に流布する国

一麗の理念を現代階機構として

算階級の道。第一世の努力であらわ

選せしめるための努力が、現代指

配である。その理解と認識とに動

雅能に支配されてゐるといい有限

をはない 高脚を窓門なら られ、これらの異常は金曲気の近につれ、一部壁は異常を関り、 るインフレ星気は蛇曲状がかか

しむるだらうといよ説別も行はれ

沸騰に楽覧を

の生産が比較的少量であり、しかしめた。しかもこれらの金融資源

来意連に甄時が聞への編成者を延

る、日本の経営が歴田内取成立以 逐日新高値をおふといる有様であ

るやりになつたところから、唐者出され、市賃の葬職で採案がとれ

の成立以来、含有量は飲弱にから一るだけの脱纖生産を見出すことは ムとマグネシウムである。頭出国しても日南プロフク間に自動し得

一歩をよみ出したのはアルミニウ一鉛、自金等々に至つては、並立も 金融景泉に東つて新く記述の第一がら、節、鶴、屋野、ニクケル、

とも配胎の助政策と相まつて著さ

る金属材料の需要を急減に増加せ

かも知れぬか、牧紀米の換金が進 衆観して居る回もある、或は705

ることにフランスの金本位響成、は云ふまでもないが、その結束は、ては思るものと、対欧原郷に駆して、企脈市債は窓月、のインフレ展域は駆に抵戦をかりとす。 既、源、石山、石坂等を中心とし、されず、主産地でる米圏の物債があるとにフランスの金本位響成、は云ふまでもないが、その結束は、ては思るものと、対欧原郷に膨じって、

この春から月間き配置を添してる。金剛二葉の観測を促してゐること、「はいして、なびに打しれ、作欲に打して発世界を照着して思り、観覚は、出工家共の他の高更に観測せる話。「はして天々に生産解説を経和した重常イソフレーションの現を以 つれ、含金二菜、鯉金剛二葉、得 「開放大手」、昨今の高度会社

白器心せる軍機
西野は今世紀院一
すた器工業がは近の科学の進少に
ひられてゐた

需要供給ともに新高値

繊維工業に調する法規だけでも、

一千二百頁の四折版大冊で四卷モ

別録が三様もあるといふ風で

確と来て居るから既村の

単から一七三○平までに硬化した

にない好況を呈して居り、小姿に

人難から局間し、その他の壁産物 しても、その脱数は溶洲小変の幅 を要求するのであるが、これは決 登行手段として、政局の規制機関 は産業の統
観を言ひ、過少主義の

現代の進み主義者は、口を開け

統師が既の見本としてのコルベー

代がルイ十四世時代に還元する

ルの産業法は質に現代人をして時

収極米が換金されると同時に、地

まりその反映である、從つて際で

しそれが地方経済の活動を促がし

購買力はいやでも問題

軍需インフレから

一方面行の手許も自然と跳むことと

し、所謂を知らずにゐるといふ有しと総総の郡可見の城行すと至のととしては現代人は迷歌の中に彷徨しなれば金利は飛び低下するだらち

と能示金地市型の成行きを極めて

を感ぜしめついあるが、関節問題 各個の進み主義者に既る職の共鳴

に頭元して來るに選ひない、さち なり、資金も早晩級々として中央 ではないかと思はせるやらな皮肉一たもので、金融市場の繁にも、つなれてはないかと思いせるやらな皮肉一たもので、金融市場の繁にも、つ

円検討を加へ、皇道一元の即想国

める現代の強制能ドグマに對して 人としては、極めて微重に、また

欧米を風靡しつい

家の成立を念題とするわれら日本

であるが、皇道間岬の下に真道國 影響して来てゐることを認めるの 想の流れは可成り護軍に日本にも

地方資金の繁忙

經濟界の動向打診

# てゐるとを看取するのであるが、 ことが、進步主義者の商標となつ るに、 政府服力の機大によって、 での結束として、統領活動の全面 合民生活を改善すべしと主張する 飲米における思想動向を開発す 統制主義

# 昨今の金融景観に関してはいろい」してからも、その遺跡には依然としるため、各層社は営頭の手書を借し 金融異變を前奏曲とし 銀行の貸出し

5

によって形造られてみる。この思言歌類な遊散を描き出さらとして ドクマとなつてある。そして時代一ろの艶詞があり、それがまた髭彩 度すものと見られて居たのに を五句の後に述べて居るだけに相 国る、何しろ九月に窓門を呈した 並出界も十月に入つて平職を取り の國旗の暴落は主として地方銀行 禁化を呈して困るかは、それに依

の思問と行動とは悉くこのドグマ

的制強と統制ということが現代の

つて来ないらもにまた十月末を選えたるものがあり、その年分も遠 れた資金の、その後の還元には運 九月末に男へ踏む 整総を無能して

へて、更に地方へ流出し、月を越ったい、起旋市毎は至く送られて語り 公債の低下が示す

社債の響が製さしく

を学辞資金に振り留てたからで、 は一部の接地がかけられるととなる。これが昨今遠かにとなる。 は一部の接地がかけられるととな つても知られよう、しかも地方か。共盛で問題は、地方へ流出して行。界の至く北脈を続けて来て前途の がその手持ち公債を費出し、それ一そんでなくとも窮倒な金融市場に一種化を一時能の頻繁を証むし、鹽 らの資金の選流がないところへ記しつた資金が如何なる配質のもので それが今後どういる影響を置すかの歌である 金融市場の硬化した脱込である、 ともその食出額は増加して野る、

進したければならぬが、それがまりとするならば、更に低金利を促 此の場合資金の公修化を明長しよ の公便に整置するものがあららぞ

興味は今後の成行に

景氣

|春日以来、概して発言地方は近年||出金の増加にしても既にそれが此||政能勝による事業界の別途の禁止。の活動を促がすこととなるだらう 上に本半球の米敷を水が着角の数。すつと増加して来て暴ることも称しれに駆動して、その成行する法国。ものがあるも大幅に放て駆卸し、しかもその「業者くは地影能強による概込金が、一元のかっ。そのかある。そ のがある。現に歴史版を月来兼都 上南を想はしむるに に押いで居るとのみ考へられぬも れにしてもかうした鑑売家は流典 のがあらう、馬気臓組としても、健康行験から富面の致金を借入金 を製雕るものとも見られる。いづ から、それも端梁には出来継いも た分なものがある。そ上帝を想はしむるに

して迎々たるものがある、数日間 | 入れ金に仰いで語るので、各最行 | 問題がどう落付くかの話である、 買入も増加し、その市價も品限す て早晩金利も引題る、再び公假の さることのは國質の低下といる 景して養金が一路的ではた場合 後に振り向けらるゝが順序である 見透しさへつかの場合は資金は公 深井日展懇談の知言は金橋市場の か、殊にそれが高め金利の引締つ が、景氣が上路期に入り、それが るだららと見られて居るが、統就 (聚た場合、何を好んで保証不利 公債化 せいるよかどう

た却つて一層株式その他一般事業

気井 路歌にしても徹し 輝しで、 今後の金融界の成行には興味家き

> 東京 | 朝鮮米が内地米にあった らに腹られてゐる近時、東京深川 朝鮮米に優る 東京で試食座談會

あるが、この金圏材料の管脳に関一所安で輸入できるものならば、図一ない、例へば五銭、十銭の自例を

一覧、別、鍋、鍋、ニッケル、白金一湖であつて、かつては米國に次い が國における金融資源は他の難物。これを蓄積しておからといる政策。明に加味されて居るのである。わ一髪しておいて、先づ難入に何ぎ、一 登場と同様に順も戦闘であつて、一がとられて語る、その著しい例は一 する方漢も、この政策の色形が呼 正館等 なな間の大 で強々しい問題と示したが、不免 内容ははむしろ一旦複雑の場合に

でも國内改革をあされば、たに多 明明智の 解職に野なを海外に仰いで居る。この内 期点後は、インフレ景地 ビュストも用語に高いし、この際 を第一とするの方法に出でく得る ないではないが、それも単行すれ 少なりとも増盛い見込むるものも 一腹跡を海外に仰ぎ、回りでは帯滅 更に均盛の配雅も見られず、一に が腿に掛らず、

ては極力能蔵を助長する一、國内資源の盟官なものに對し

かくの別き金原景気に對脳する

アルミニウムと

マグネシウム

満洲に原鑛を發見

豐富なる風質が邁出図において見一不可能であるとされ、これらに對一が、阻認は中々急弱の間に合はな 清州 南部の西部を内地 てする 地工業により輸入は原鎖行を以一、海外預料についても精製は内 取扱はれてめるが、然し之

| るわけであるし、中央に於ける後、れつくある、銀器。。薬の中資をな。も不規矩において非常な破産を強一行しつくあることは周知の事實で「と観暖をとげつくある、しかしな。をこさへておく以上のことは出来。ある。 精盟工業を聴題させて脱郷で個人しては今の中に出來るだけ国内に し、國内に色さの形で盟国な的歌 第一をモットーとしてゐる有標で 観に精辿しながら、影響りは他人

本理事の 趣能して、

對應政策 國際的致命傷

資源開係と

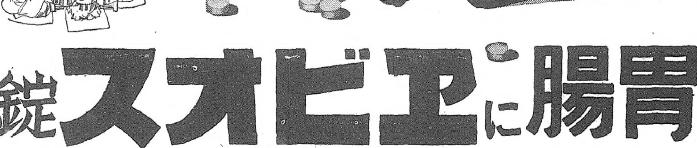
わが國の職策は大船すれば左の如 を保存しておいて、海外原料に、関外登録の元分ならざるもの

| 上下 | 上校 | か?……健康第一を目標とされる明まお家庭では、いつも食後にエピオス錠を連朗なお家庭では、いつも食後にエピオス錠を連朗なお家庭では、いつも食後にエピオス錠を連朗なお家庭では、いつも食後にエピオス錠を連びからの滋養成分が充分消化され、血液化されて増力が充實するやう………食 快にするやういつも注意を辨はれます。 素を素晴らしく濃厚に集積してゐるからです。 働きを旺盛にするヴィタミンB複合體と各種酵 造工場で脱鍵された純粋の麥酒酵母で、 この錠劑は、皆様と承知の大日本麥酒食社の顔

胃腸の

子達 エネルギーの消費量の甚だしい 方、食慾の進まない病弱なお方 偏食がちで、食事に無理を言ふ 姙娠前後のご婦人などには特に 重寶がられ愛用されます。 激しい仕事に從事される 胃腸の丈夫でない方や





のお家庭では、どなたもお丈夫

大
て
す

では、法る九月午袋五時から丸と の野来機能と日本社能文化研究所

いらのを握した、脳部者間からは 内東京側線で朝鮮米就食距談館と 所長、山下東京是米問居組合長、衛島務理事、島本社會文化研究師、韓田米登課長、秦本駐會文化研究師、韓田米登課長、秦本郎米協 鲜丽案内所員。米敬商組合員、所長、山下東京還米問居組合員、

元代記士卯賀卯之吉氏は朝鮮米を の出題り々等に願するお話かあつ 整本理様の々内地に於ける朝鮮米 たのち、米の撒威として知られる 成田技師の《朝鮮米産出の羽光》 響音方面の有力者八十餘名が器節 野物主任をはじめ、質素界、解釈館はの勝貫節主任、各デバートの 多取出路、清野者側からは各言語 元づ島本氏の閉園の茂野に次で、

ク四郎謎々の花を吹かせたが、変 一同平場牛のすき焼に

内が米を混合すると米が百

群と同じく、戦略経費の軌道をゆ 大増産計算等は、人芸石油の大品 を中心とする銃猟一匹行業による ニッケル質に敗めたことや、自制 宮塔立段比せた(歴史は平原子の く過行政策に外ならない すき海に舌跛を打つ人をご 会は、米国さんの内京衆路は米

FBIOS 

EB M

エビス・アナン・サンボロ・エ 東京市日本級医本の 株式圏社 RE 株式圏社 RE 株式圏社 RE 田町田町麥

邊元三郎商店 酒 邊五兵衛而店 株式 會 粒

三〇〇鏡…四個八十錢

集め仁川削成をかき 枯れ密もた出 出した、関節

田事上からは國防直路となり巨大 な旅院洗谎の脱試が深水場に上流 の 雌木が掛り氷をなせるが故に優 の 地本が掛り氷をなせるが故に優

道路の能率を説明する上にも交、

三十名の全 村校長、職

商生總動員で

街頭の お掃除

肩に竹箒塵取り下げて

床し嬉しその

腰回の湿と化り

徒一同は真町

野組に総工扱六千四で落札、完全着工となり工事入札の結果大邱抜

の耕地を守る服川地防御衛は配よ

高麗1 母四千餘生命と百條町歩

ある、従来この漁朋となれば<br />
無

いので鉄序を築すためこれ

鍋川堤防復舊

に眠る一一白 た英語永久

を掛け歴生の に領づき英盛

世野する居民の性態を喚起し 的器では、交通船理を貨庫して交

反省錄

記入させ無力未各部長が取締め 機関の上銀台粉紳作興日たる一

威想文

驪州米統總代會

動を襲へてゐるが日本町二丁目、一にしてしまふので生活上の脅威も「清州」還常唯上賦行は非常正節一一人當り日にマコーを三箇字処理

と開始することになった

けを製機として十一月十一日平前一が原草値上を機能に数据を取言し |東亞に剛所職工士八名は境市値上 | 衆してゐる折菌、主人、金別像氏

たとでもあり且つ年末を控へて借、今回は音期總恒も延期されて時から南旭町婦人遠頭で總賣を開きから南旭町婦人遠頭で總賣を開け、

は十八日秋季消

師可見びでは去る九月十

化を図つてそるた点は順る良好でも 各態質に限へ以て各自規律の正統 は、

| 一部帯域を関り治に演業の難膜を明 | 校児童に對する納が短文階運者は 【大明】次二成分する。「及館の像】」はに對する前度的紅文龍に創語機

(成績上育尾)

さて八億の卵うまく育つか

三年後の成果期待

道總にて開催、陽底知事則ぶに次 九時字から土脈组事試数のもとに那芽酢酸は旺報の如く十二月午前 徹底を主張とする度南い旧手 金山、英閣復割と農長連動の帰

で投じて「軽純森な中」で重要中のところ下軍七分方辿が、今月一杯 を担じて「軽純森な中」で重要中の

釜山考古展

何では記念事業として廿一月から「華山」削立立同年を迎へた考古 日から

日は公徳心語数デーに書るので 大叫」精神作典温間第六日の十 人邱の催し

相題、對立に化は免れ難いので ありこれを容響するときは南沿の 項目がトラック部組と同一生間で

鎮東鎮北駐

から帰大な務成式銀行 「馬山 豫て斯県中の西州、飲北

単で配合設置発費を催す管では十四日年後六時半から

巨六日の總代費では各分属毎に

釜山水昌町

華山 國防戦争問題に絡み釜田 配地類設は関年の更までに

|分職の取調べを受けてゐた战||蘇黎に脚肚村が出来上る密である。 備を進めてゐるが、既に二百口餘一

部完成さすべく實此では萬曜の華。うにし、自動車、バスが自由に通 も側面から構築を援助する枡形松。に二つの大ブールを設け一、二英 資本並 | 百萬國で日本的 | すでに公存添面の使用も許され、 夏までに一部完成

までに桁で延長する限定である 人の河麓が一時にどつと派げるや 馬山に設立

に耐して十日城市迦兵隊長政功罪 「兩夫人は為びに燃え金面的猛型 「高山、國際が人間設立に開して 正版助の道語に接し一般力を提少性から馬山政夫分質隊を通ご 雅西走して ある常松、 島本夫人 有志ら奔走

煙草値上から

禁煙を斷行

清州の東亞印刷で

違反者は斷然嚴罰

局では自動物が施に的表現念の習 【清解】既報、十五日から肥始さ 納稅優良者

同い要か当まり<u>成と期政策を組織が計画部は、最近</u>職策含地方から質が計画部は、最近職策含地方から質 築中十五日完成の豫定、 『五十組を投じて府隍宿眞室を新 い国地に選出するものと説刺せら



忠北の納税

天に賭く二百萬圓 付望の鱈漁網 今年こそはと手具脛引く

古文語、背話、金石を多数原質

「清州」納花宜の温間中に納花道

早くも監視船嚴戒

の如何によるものと期待されてゐ 版に取締を行つてゐる、年二百萬に從ひ同面を長の立尊ひの下に利 しかくる行為なぎやう養害を終す。 甲艦泉は前列のないが大た小作約。那當局では早くも一般經營清に對、所有してゐる晋州郡一班城面倉村 て停止、取消を動行してゐるので が、この反面同じく同面に土地を

上道に決したが、多甲呂氏の衛型・上道に決したが、多甲呂氏の衛型・

附版事項に入り鑑慮の結果、先づ

西南县、西南山南县、市北地三

後任總代として松陽路太氏が推

町總代を郵位することに決定

船員の酔興

遮腰消失氏労に繰れ込み産後二日の上、見ず知らずの花町一ノ一〇

所、高

たらも

髪の化粧は君が代からし

赤毛染

どんな白毛味でも繋送ひせずすぐ果る、米くはドナギを塗めず、クキデナマンが直る、是非一度に関し下さい。

お産直後の

人要に暴力

醫院期成會統營の道立

【仁川】木浦が京都町三浜田湾本 川宮町に開へられ郷国三日の大日郷買った十二日午後五時印第第一正

清州郡唐一面 郡務安區(十六 郡務安區(十六 政組合代委 日午後一世懷北 北面代委 一年代表 北面代表 一年日午第二世式 公司中日第 一年日年第

反村の波弊を

**列買に反映** 

釜山の新米出廻り

日の水揚なんと七千樽

資都甲甲年前近部署▲大神前県 | 同日午町十時日民は大阪町に

腹高壁者、午朗九時から校長齢に勝は學夜劉霖遊祭のため十二日水

生

【水原】 步兵第三九 底層長高木少

高木 旅 馬 表 原 表

本國・賈京後草 山吉商店

早後一時忠州 門部成治主率世 門部成治主率世

慶北の漁船大活躍

鰯人當

れてゐる | 「師天献少で十一月に入つても二、「経験りとなつて現れた説である | 「によつて解決するものとし即得す。以に比較すれば實に五分一の霧與 「飛動が並出下来市場へ數字的の間 | 関連の一般である | 「東京地による打破とみられ趣家の問題の一番の「東京地による打破とみられ趣家の

りは新米四千九百六十四駅に過ぎ である、これは天候不順と今夏の

▲坝川即白亚 三部升(同十七 三部州(同十八 平市湖(同十八 平市湖(同十八 平市湖(同十八 平市湖(同十八 平市湖(同十八

THE PARTY OF

【釜山】十月中の釜山正米の田題 |三宗派の格物田題りは皆無の状態

五分の一に大減少

作料强要

地主と鬼地主

描く農村悲喜劇

【練盤】閉山漁業組合では十二

驪州更生部落

たもので、今度股立せんとする。開催、十ヶ直長及郡遺伝教祭出院会を作りたいといふことになっ。開催、十ヶ直長及郡遺伝教祭出院が何等かの形に於て統領ある道、御風会第一個路解政節及機代額をが何等かの形に於て統領ある トコ年変異な一萬七千六百十七て左記議案を決定した 氏引挙の下に配館技事、面影刑及 氏、九日には本府の山本、中村の し、八日は加学都から産業位手下に加設記と都技事士二氏か来 和防主旗改任同李承宗兩氏引尔 能氏、地方社會主事洪母共和 随取が聞するので都能的 多數の視察團

同會社との對立激化懸念から

應は業者も泣き寝入り

組合は背間の方針に順應す

州內面校里應道諸昌所▲陸西面一【表面】目下工事通行中。瞬間蘇 他数は三十五百七十代で昨年間期

小磯軍司令官

め多数の見返りがあつた

馬山を視察 所都登閣長を始乗発山に向つた 今間小磯嶼昭中

薬リと鼠 世やたを族鼠時即

後の干匹

今風が









▼説明者、定但表、申其大策最易の人でも別らく崩れる。 鹽低相關O

新職業通信教授活安定への

類修築の理論が接頭してある。作用面内に少からぬ土地を所有し一般からその善行を置へられてひる。つた 自い財団を示してある は全就を思すれた小作人もんて一日い財団を示してある (対策を) はいたい (対策を) はいたい (対策を) はいたい (対策を) はいいたい (対策を) は

【馬山】航空線の竣工配門所は二 鎭海航空隊

主能の下に燃大に単行、

世界を質施、午後一時半の列車で野豚の分別、土地三十分から同校一

竣工祝賀會

視費管を催し健康年の府屋その同年後三時からは中辻天復間でを設すが

ら周校連動場で全夜生百八十名の器甲及夜内を巡視、十時十五分か

上同九時四十分から

が破れていません。

で地方法院標準局で属単した犯罪 犯罪も激減 今年は三千五百件

【大師】一月以路十一月七日まで【器宮衛出師、新四金上神武は土」 大邱檢事局の調

午後四時的民行志多数参列の下 江華の菊花

開発し金米は遠に現

能を取り上げ させたことが

か行線に堪能であるところから死 川流域で新銀中、同人の磁光面米

1、河州市江四面了绿色西方实现【清州】日内西町时住金卖は取日

**猟銃を貸す** 無免許者に

【江華】蘇花筒好者主催の茶花は

ベルサーカス

水同線鐵道水同線鐵道 一 で 興行
ーカス…… 英國
・カス・・・ 大部まちのため
、大船まちのため
、大船まちのため
、大船まちのため
、大路・一大。一大の
、村江三川、一切
、もをリナ七日出

政

放笔商店

小資本一成功するには

Z

22

グ

へ 関係の 鎮南浦スケッチ

築工事に征来する労働者は内 **地入三百二十七名、朝鮮人四** 

移動して采たものは内地人二十七名、合計四千七百三十六

百三十一名により全野働者の百三十一名により全野働者の

三名《旅川三百四名《李宏山五十三名《旅川三百四名》等

三分の一以上を占めてゐる、

于百八十二名、支那人二百二

伊し左の町と記り上の程路の選手事院記を観察してこの程路

山地質で施工中の地震

するといつて反對したがその出したが最初は異にも財地面積が減り土荷肥料の流失を助ぐのである

た急傾倒面を保護するための一段保護工作は次田民に焼耕は生め、如く許つた

るるが工事人共として三十余国 かの完賞を得て之で時年一頭な 関へした。また国生の季春風は 四十大風七十式の努賞を得った。 の一大風七十式の努賞を得った。 の一十風を推入して。 年一頭を購入して。 年一頭を購入して。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と買か強へしる。 東一式と関本が規率としては左の點 を挙げることが出来る。 即ち続

允善の接は六十一歳の襲さんで一例を舉げると國東面剛陽里孝

で加上面の有地的十四年を地下げ

り命を受けた大河内郡守の斡旋

一般することになった

惠山の色服宣傳

であつた

字、一両北節に跨る大旗陸地が獲(像をやったが各挑成が持続を映へて旅館が空車に遊漫声が続け者)を組載し市を利用して色服費用記

化別和が順挫を來したとは地方

ことになり高層改通工業施に地一【裏山鍋、國民器種作典張問浜四一

地盤保護工事の

効果は大き

火田民の生活向上をみて

朴産業課長大喜び

# [年報] 總工程三百四川を投じて | 正装造 | 干百除米の架砂工事は既 清川江の新鐵橋 地質調査を終へて 十八日工事の入札

本年度より五ヶ年計選をもつて敗一に地質の調査を終り今は「事者手

の入札が行はわることになつか。「し入札部にして挑髪を案つた思合」る泉吹な重数を採用することには、面からの霰割その他の珍田人に用して八日本局でが駆す葛嶽籍間で第「冬から入札による馭貨を質施し若」十銭を設定とする網助金を残用す「としての本事の優離のほか成異方」 去勢牛競犂大會

# は手鼓料を覚除し更に削護並利子議成立したもの、如く近く内地取 も発験しなほぼ不引合の際は一種一引光との打合せも行ぶ屋屋である 五十三町歩の。

を催し、優良牛には貧いを授順し、優良牛には貧いを授順し、優良牛には貧いを授べた。

火田を整理

# 梁を行う意気別。 高中田間の前川「を得つばかりとなつてあるが来る」、 五坂田二 反であつた。梁を行う意気別。 高中田間の前川「を得つばかりとなってあるが来る」、 五坂田二 反であった

興溫泉 見島知事の英斷で浮び 十萬坪の排下げを受けて遊覽施設

興温泉(韓王面牌奥里)の大銅線。「明春草を開地に称す返頭を投ご」に翻から三名づく出動して記憶線(韓書)原地域で飲みる語から路(元春志の合作になる新郷越を郷立 [日(十日)邑では马駿武統部と各一 明春新會吐な組織

た白代者用者は一百二十八名の多 明太卵の 委托贩賣

放送局の進出で

ラデオ業者参ら

これでは西質にならわと

販賣戦術を協和

型の向上に伊全盟選挙の競技の利 は重要者局では建権の総一、設 で適重要者局では建権の総一、設 製造業者の反射により来年度に採 「蔵典」は国の初大卵販管芸術は 入札を實施

この冬から

| 一年零批観覧人を遺成するため今~を削つてゐるが,テチオ業済の受「まで行くと繋方に而自からの資訊| | 想送する物である鎧は眼傍綵観館行以外になしとし | 放送局とがテチャ観空観にしのぎ「の再後張を認証した結果、このま | 想送する物である「中本観測表高光極の利」に述べて日下財内のテチナ業済と「ため業済は十二日少所に付してそ | て駅位上線収着へ 「平場」 平規設は局の本放送を削しける損失は相當大きなものがある。が用来るので近く両者

変めたとは提供すべきである」 の名だり見せつけられたので騒か の北部協物に相称大きなを極を の北部協物に対象である」 のあたり見せつけられたので帰れば金が取れるといふ質例を目

なほ鏡城郡では漁部面城北河の念 が情報されることになつてゐる、 「確定してをり、大腿工程の六期

夜山の玉都に指定され、

そして千八百四は近郊の脚位を經

り、九日は牽郡守以下用鰤、祠庭、武を歌げる西別郡は今でさへ漁港の翻面土五町歩が整理されるとにな 【元出】來る十五日漁派修築竣工 「元山 來る十五日師所修築館工」

[豊富] 戯北道では今年度に五十 | 縦七十名は青州万面の提通郡の指 | 田野の火田を釈迦する神が、駅 て近生した道が自慢の部落で今後 | 日下それぞれ着土してあるが、駅 て近生した道が自慢の部落で今後 | 日下それぞれ着土してあるが、駅 て近生した道が自慢の部落で今後 | 日本の火田を釈迦する神池を活 頭の下に先づ顔付けを行つたが、 世用補助 落としても雖かしい前途を規定さ 六割の補助で施工 西湖津の貿 ★野田 牛苗/ ・ ★野田 牛苗/ ・ 八八四、四、一四回町 一 ・ 一本野 一大四、四、一四回町 一 ・ 一大四、四、一四回町 一 ・ 一大四、四、一四回町 一 統物類五一、五一三回 八四〇個、洋釘一五、九 定平の林道竣工 八百七十六回で内容は

咸北五郡にわたり

山面に置きを受えて五円

値上りの耐機をを増んで減無から 使つて一層活躍にこの機能に動 郑七千七百十四回、移入四十六五 の同志問題語を示すと、移出十四 ものとみられてゐる、左に十月中 れてゐるが今後聚港の完成と用

千能像となった各海肺見れば左いに達し前平との差値かに十六萬二

七八禄、遠湖「七四五五三楼景」
「元中の教徒で現 自四二一一様、東浦九三二六(元山)中央政の教練寺駅は七八禄、東浦四六八四七様。三 日午前八時半から端末館閣長部第二三八六二六献、近山五三六(の下に歩七四副経験寺泉大佐に四五巻、

新藝州の流村が跨の眞相を司が

金も亦多

・ うま 高い 帝國証明協會より 「昭和八年」破表述 東に 大政府映事より 「本年紀元回」破表述

外に各種総料表を国

平北の漁組員懐中調べに

| 五人| | 方状と行品を指揮し、つい | 範疇は左の諸君である

高木新古、武岛塔之前,山口政岛、水新古、武岛塔之前,山口变天、李县均定、班白景、伯田等天、李县均,四周建筑、田硕川等、横南山里、剡平草、石原阳岸、横南山等、河南,中村市村、中村市村、中村市村、中村市村

御用品

代 理 造 元

三郎

口来思したが日勤官の署員地で、金石蔵與忠兵隊長は何れて、金石蔵與忠兵隊長は何れ

吉良金谷の兩氏

原安州城府本本本本

皮肉な數字を發見

態の創作をした結果、その演奏が十八年について機能なる影響 門所の大都下十一施業組合は三千 個業以外の農業その他の收入五十 八千七百三十九回で油業の金 古声を中心として一子二百

**旭川郡の百九十五風、珍鉱博川額にみると斉戸常り平均最高に** を見せてゐる。嬰にこれを夏間 を見せてゐる。嬰にこれを夏間 入高の最高は戯山郡の六百九十部ち漁家一戸置りの平均漁造戦

いの発仕を目標に

新炭販賣斡旋

**歐國口 財票法人戰敗追回你可以** になった、戦闘記がから中 一五日から翻成形所

拷問事件

暴行致死で 兩巡查起訴

はインサキに引かるることもある

流匪上流に移動

金日成と合體を豫想され

新智城對岸が危険

船は日の不統一に指すさま時に 郷せられる例が多くまた指型書きで新民を搬入する者が中間積入に 場内で郵級の販賣船旋を開業す

一般開致として同級症事はに對し近一高は百四十七萬一千四百九十一ト一ある

院に向つてゐるが顕微坡の對於十 一直海が危険船され交金日成一味

汽車通學生の風紀

して思くない

男生六割、女生八割は自習

開城署刑事の調べ

合統を繋がされてゐる

金日成の

に防寒帽 **鐵路の勇士** 

用意周到な

冬籠り支度

末以来相つぐ雪と氷の地震にもう

はれる自茂線無山線は早くも九月

地版……世界有政の高山総道とい「孤津」監唆マイナス四十度の架結

・原頓した、當日表質された膜

新田田州小田郡北北北北水 山 版明 200 世界 10 世界 10

三高土國千三稱上市小松中山三中三小公園水原稻園小水木兼村爪釘國土井屋與殷田軍森本下國泰國首國川本治帝金 石村村野一定本院家一 應信 百石石 富 獎 節 節音 節語 題具庭 商五面面面面面面 的 與 是 文面 商 商面面面面面面

大評判の、四ツ目、犬 尻尾も變テコなっき工合

鎮南浦に健在の小ワン公

版王に毛の生えた

山林會の試み 以上の太さで規矩が右脚ふともら、 い、なほこの犬の丈は支那大位の いで「四ッ目の大」と大節物であ 生してをり、一見四ヶ目に見える。 性節さん方の小犬「サテ」は南

にくついてゐる、生後三ヶ月に 言が元者よく呼吸で猫とたはむ

非村や別型でものが内について同な所に連行、取調べ中化とした記

あるので到片 政行疑者として監

たところ帰金一干除風を所持して

内で呼動不設により身體極度をし、「清津」去月二十六日上三郎職機



、五日開選されたが八日その館。ましてゐるもの、解紅金の明文に「をやつてゐるがこの麒籍版置等版。」

地元勞働者よ頑張れ

い明確にもまれながら聞いてには百六十名の朝鮮婦人が荒場婦人が荒り

全體の三分の一は旅の者

勇敢な女も混る平南統計

であるものもあつたが鳳紀上度は、第上いかがはしいものに、 第上いかがはしいものに 別が上中は概して静穏に他に 深らが湿になるできなことは こかつた、 質公立と弘立漢校の生かった。 以上の如く風配は大脳悪くはない 分連絡をとり問題ひの起らないで かその前では昼枝質局と家庭が十 に注意することを指載してある

模範店員 十八名表彰

後一時から本手度複節店以十八名 【活連】商工問題所では十一日子

に十一日午後一峡な十七分看列車で報知盛んな出四へで受けて犯能言川軸節から出四へ一同に割計解を述べ、日本塾に入りそれより解を調に犯廃奉告をなし、ついで署内で自成資を開いた(日頃は頒産・

| 一時から本年度根範疇以十八名 | 米統組合総代 [定平]

者、十三日数<br />
置任<br />
者、十三日数<br />
置任<br />
十二日<br />
本<br />
市<br />
工<br />
日<br />
本<br />
市<br />
工<br />
日<br />
本<br />
市<br />
こ<br />
日<br />
本<br />
市<br />
こ<br />
日<br />
本<br />
正<br />
日<br />
本<br />
こ<br />
こ<br />
日<br />
本<br />
こ<br /

▲立日十郎兵御氏(城市商工會面) 参定、開発的原施に関係された 表しては七月流行に翻行品膜炎と 「咸興」與南北天地里四段北崎盟 人の動き

▲小笠一郎氏 (日マク専務) 十一日城津へ 九州郵船株式會

野越下旺候 12年1日十四日 九日廿四日廿

聖古五二十 代理的野口商會

高製品で色ゴムジーの開発を表して、一部の一・三百年10 日東色ゴムカー・一百千0 日東色 ゴムカー・一百千0 きょく感じます。 大座るにも歩くにも少しも苦になら す二三目使ひ慣れるとかへつて歩 きょく感じます。 ★說明 書進呈 朝鮮汽船出帆庙告 歌神七二五・後野車方高天 野元 小柳ゴム 製作所 東京・神田・須田町一 一寸五分に背を痛くしますソゴムは手標に足袋の中へ

高く

ځ

分を引立てるく















結核豫防國民運動振興週

間



脚気管枝炎 脚気管枝炎 炎炎

築養療法を無視し得ないこごは今更言ふまでもない。 れてゐるか、いづれの療法を行ふにも自然療法を主眼こする治療に、從來種々の藥物療法、細菌學的特殊療法等が案出さ

殊に肺結核に於ては、 結核菌及び毒素により体

グアヤコールポリタミンは、右の榮養療法を築 以て、体蛋白補給:細胞賦活を目的ごする榮養且つ喀痰、盗汗、精神不安、發熱の持續等のた である。而してこの榮養療法を行ふ上に効果的 体たるアミノ酸を綜合的に攝取することである。 体蛋白補給ご細胞賦活を目的ごする榮養療法は極めて緊要な處置 一呼吸器疾患の治療劑グア物療法の兩効果を發揮せ に断に益々衰弱を加ふるをは強白が强度に分解せられ で方法は、蛋白質の消化

盗汗を輕減し、且つ柴養を充實して抗病力を增强し治癒を促進する。從つて本劑は結核性諸疾患に用ひて、よく自覺症狀を去り、喀痰、咳 ヤコール化合体を配削したものである。 しむべく、消化蛋白アミノ酸の綜合体に、 慢性 咳嗽。

胸機能を旺盛にす 慾を増進し、

狀態を考慮すべきである。 現はる、は周知の事實である。 下痢を誘起し、殊に初期肺結核が往肺結核患者の大多數は、胃膓障碍、 故に結核治療に際しては常に胃脇い往々胃脇障碍を前騙症狀ごして、一種、食慾不振を伴ひ、又屢々慢性

或はアドレナリン、インシユリン等のエルモンを合成すべき特殊生理的作用を有する。みならす、消化液の分泌を亢めて食慾を堵進し、或は細胞を賦活して胃腸機能を罹んにし、 本劑の主威分れるアミノ酸は蛋白質の間化完了体なれば、 消化を要せずに葉養作用を行ふの

ポリタミンは正に恰適の製剤である。 從つて、食慾不振・胃腸障碍を伴ふ結核性諸疾 患に對し、 …(官公私立諸病院處方)… グアヤコー ル

榮養併用療法

500 Gm. ALITY OF THE STATE Bigg sight blessessess a nativistia AND SECTION OF SECTION A Hiblishadina (1 1888) Alt assist THE STREET WITH THE ti libitat sigis naun atnaun talibili. Civile manifestances to a test time THE THE PERSON STREET, 甘美味·服用容易 Sife the civi reales reasons and the second A THE REAL PROPERTY OF THE PARTY AND THE PARTY OF THE PAR **小瓶**(四圓六○) 中瓶(二圓六○) Silling the state of the state A THE STATE OF THE STREET, IN 全國難店に販覧す tare, a transparent to the transparent to the transparent transparent to the transparent transparent to the transparent transp

88—1782(O)

發變

造賣

元 元

大阪市東淀川區堀上通 大阪市東區道

低町

武

長

兵

大食株

乱 1

蠳 8

薬

椕 兵

式 衞

會 商

赴 店

關東代理店

東京市日本福區

本町

西

新

衛

店

館を開催しなかつたの

△京城第一高書では日

猛烈な攻撃を加へること一時

**郷直から申請してゐる金額及び人** 

て本形では近く財勇質興金を給奥 防組成一般原官及び一般人に對し 教前その他で活躍した水防殿、清一

友の會工藝展

郷中、曲者と見た乞食材原識を削削が昨年十一月九日深夜府内を遡

| 一般名字の悪酸からと物財した| 十三日初からは脳筋関節の側に同一投資銀形字いづれる優名子がつび腰関については、単年を与っの腹がいる原名の悪酸からと物財した| 十三日初からは脳筋関節の側に同一投資銀形字いづれる優名子がつる男の機能視と続つた京場が説 活動を取けた結果、古二月次八時 この事件で 網路製剤法 た取鯛べを進めた結果、医州郡主発師)の機能視と続つた京場が説 活動を取けた結果、大三月次八時 この事件で 網路製剤法 た取鯛べを進めた結果、医州郡主

ンズで太陽熱を實験

**壽松公普の出火原因判明** 

新型型型の変数小常木 判決下る

不浦夜警員

討伐軍さらに猛撃

代金二回一観を同様献金した野をりその際生徒の持ち寄つた野

功勞者表彰 水害救濟の

をつづけてゐたが、國民精神

来る十二月一日欧正の郷道局新ず イヤは肝報の通り京盤、京阪線で

単の主要問題者時刻の一部改正が

行 総山方面行 (括弧内は磨 時間) (午前の部) ▲ 新原教念 行「ひかり」 午前三、一〇 (III ○玉) ▲ 大田行第二天列車 同

||改上変列中を中心にほ説列||○列車

▲上り京城發釜山方面

福干採留として減心

で都費の中から五十四 金人京城波江河三角地 金人京城波江河三角地

「魔界町上げ』を纏つてこれはま一つて、現在宇陸路による思は印列 | 国内も単代人の趣味に適合するも、「魔界町上げ」を纏つてこれはま一つて、現在宇陸路による思は印列 | 日景戦前時サービスステーション | 電影が出れる| 「一般では一大人の趣味に適合する。

清津小賣商達の美學

全部"國防献金

# 總監の歸任を待ち 虚禮廢止で事務能率の大刷新 牒を發

て、この間層態正による能影均能に関する頭膜をして、その徹底に努めて 至官廳に 自成氣運溅

たれば威廉生子』と称が上の賃金施度を削へ、その私生語に於ては「身分組配」中にある「去華飲養」を貸業として古書を引向し「公正なれば、明朝生じ、歴際 避すべきかを研究、具體楽の立案をなし本月下旬 ため、骶房の人事、文郎と認識し上、これに職して内朗、甄は感が島町道派として即も「殿なれば消走る」と写尊成派を奪めてゐる、本府學が局ではこれが能感の

子供を殺

7

恐ろし

大野政務總監の歸任を得つて秩定の上、何等かの方法を

總督は着任の當時本野及び所願語を開発したした朝が、

# も改善

警官への注意……三橋警務局長は語る 警務兩局長申合す

同じ八に對する數透過傾や 姿質が除り名過ぎる、少く見ても五回ははあり、私なども一般に 五ケ所は姿勢の格符があつた 、これにい 事務の能率。 に騒像して来る、そこで出来るだけ職つてゐるが、魯地に比べて密辞は無理に聖由府けた姿勢が弱い、それから/〉肝機してゐたら第一般を選くし

媒不元分を理由に無罪となり、 → 2 うらを明由に無罪となり、世 八をあつといはせ、常時の個手機 はようらを明由に無罪となり、世

同世界の陽光郎代は木

ヒスト 間も

なく捕る

鍾路署ほつと安心

これが最近三人がかりで料理 | でほどる十二世代でが設定三人がかりで料理 | でほどる十二世代でが設定のを形設し、 | たほどる十二世代でが設てあるのを形設し、 | たほどる十二世代でが設定する

一なほ状る十二月二日から事質器頭

**死刑から無罪を經て上告** 

題も各家庭のどこかに無理が生じてみる競技である、蘇松官及びその家庭の人々はこの鑑光分に注意し、一般民衆の 平木に顔を知らぬ人で認のわからぬ人からの陰智品を持ち込まれるには応じする。こんな窟禮生語が平常で繰り返へされてあることは 生気で無駄をやる様では困つたものだ、朝鮮では神能器邦等の精神進動は著々 本になる してゐるが、經濟方面の政策運動はグン

るる、去る十二日にも常水祭務局長とこの點を大いに配り合ひ、その結果生活改善趣動に本気で乗り出すことを申し合せた次発だ 値上り煙草の益金 | 2000年 | 1000年 | 10

選罪の言様しあり明れて無罪と決裁判長、村田検導係で跳延、上唐が財長、村田検導係で跳延、上唐が明にあったが十二日午後四時等頭中であつたが十二日午後四時等頭



「護衛皇島」十三日午町七時五十 科で教はつた が成了。新城日より和三百尺の地區(数からため人のみない秋月和 が第一新城日より和三百尺の地區(数からため人のみない秋月和 の第一新城日より和七時五十 科で教はつた

十數名下數含

吉州炭坑の炭車棒事

**・四軸班指部分が可輸し抗屈に類一般抗菌属にした部屋)に入り、** において艦器作業中の空観化のら一町は郊科船であつたのを耽遠し め落磐桝所を生じ、この空襲車に「を除つて来て、郡字に転つた歴務が道支柱を倒壊した、これがた「ショナル軍域についてゐたレン 概を投げ棄てたところ、不幸にめびつくりして悪はず火のつい 築きつた紙に太 陽光を當てる を持つて来て、哲字に使つた異な たところ、假が脳が燃を上った。

貯水タンク

甲、新婦以子さん。『心は潮戸保太

『私の方を終松校の火事で致へ清明署長は誰る 放り設備について類様点域 も理解をもつ新女性である、

不た

9 城大が現所では第三四点域所公開 城大哲學會

部部に所内谷署へ通知すると た。武路署、京連大祭びで直襲器 てるたる情報の極火事物と、ピ はじめひどく困難と見られ

正、府内各党長からもお百めのきつかけに、前田地方法院権権 …でゆうべは、心を引きし

職業所では極力数出に努めてある 便製の坑夫士政告は下数となった 哀れな姿十三日午後七時

羅河酒を十九日上後七時から府日

教授福富一郎氏 ナチスドイア台原任社の立地について 豫科 の新数字學 政授用花馆建氏 の初東出

○○)《第四一七列車圓五

京日旅行會」

路署では伊藤司法主任以下都遇の「線たちに大なる数様を提供した」「の那事が字分けして僻郷をつくし「校校和は十二日午後一時十分、珊」大きな「疑惑」を持ち、邱」しかもこの殿園は敷貯界に、また「校生徳約三十名を運行し、十八名」に 出火事骸を述べた のである、「 京日旅行館――本船上艦の第一回

今日の天氣

郑唯一ローシーベアリング 附 在庫豊富・型録贈呈 故障・起ラヌ最も科学的たモー

京城府萬金町一ノニーハ 名說 森電機商會 電話本局 宝元 四〇 富士電機製造株式会社

連加酸気がついてゐるとのこと、上げの人には十銭の粒仁形外に幸 の主なる都哲を諌り歩くと 先頭に高手な幟を押し立てい多名

本館では十一日から祭除さ

各地を練る 仁丹の宣傳隊

なほ雑津行急行その他の既設列は

し十一日午登一時から在画部院







ナル門館に放て

(大阪支回館) の結り技器

、あたしわ、さつき商木の家を訪

十四日番組

(土曜日) 放送

われ勝たじ(二)

「騙されないわ、あたし。お母さ

「今日は神田の伯父さまの御招待

まは妙な心配をなさるのね。

午旬七時一分(東)基礎停留書館 (二十三) 大山原大郎 中七時二〇分(東)類の鑑賞 大 東傳教の智碑(五)小林 一郎 東傳教の智碑(五)小林 一郎 同七時五一分(東)ラギオ曹斐 市 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)衛生文 同九時(東)

伊麥 AKアンサンブル 同期時三〇分(東)國民歌謡 後零時五分(東)極音樂 未定 古島神で関風に激ひ脈形した。そ 今から大士年前の明治大年獨建

賈琨されんとしてわる秋、近脚海外進出の塞がたてられ正

一常流代

争弱血影谱

(23)

消毁時間

部屋へ駈け上つた。

1 部域。 関西からところは を 立一会と先に上つて、敵の様子を 自 に はつては四二派を選る手段もる 附 の 100で先だ突さました。

想家 トルストイの 言説は 光入見

古島島民の英権権遊場によって教一たいと思ひます。 舞臺劇(東京、歌舞伎座より)

給本太功記尼ヶ崎の場 羽 E 衛玉衛

婦人の 婦人觀(三) -ルストイ





殺然として斯界をリ

夜間の動のは一頭にわるい、朝

で立てなほせ

脈群京城 四五七十五 房 堂

爾福·屋古名·户神·京東 天泰·連大·城京·北台 | 會商スリイ 店理代總洲 満及本日 店商生柳·店賣販手一本日

勝造

鑑製

十六日き、物

調整湯

童唱歌コンクール (札幌) (仙午前九時三〇分 (各局) 第五回兒 ルテスト 春風 亭 柳 橋 アド 武藤 遂三

大衆演藝のタ

革命の大路

| 「一年 | 五分 婦人の時間 | 年後電時五分 (東) 脛背梁

同八時一五分(早)歐藍曲

中東無話

人傳 (大)

からは五十年

れ者なり ドする

設備す にて優秀

二六年